

南知多町 生涯学習 推進計画

【平成 24 年度
～平成 33 年度】

自ら学び 自ら動き
みんなで共に楽しむ
まちづくり



平成24年2月
南 知 多 町
教 育 委 員 会



発刊のごあいさつ

人は、一日たりとて同じ日はなく、常に何かを感じて生きています。その感じる何かの積み重ねを学習というならば、生涯学習は正しく、人生そのものではないでしょうか。



人は、日常生活の中で個性が育まれ、喜怒哀楽も一人一人異なります。

この度発刊する南知多町生涯学習推進計画は、「誰もがより良い人生を送るため、年齢や性別に関係なく取り組んでいただきたい学習や活動の指針」をお示しさせていただいております。

是非、町民の皆様の息吹により「南知多町生涯学習推進計画」に生命の明かりを灯していただき、この計画がより多くの町民の皆様に、より豊かな人生を送っていただくための役割が果たされますことを願ってやみません。

平成24年2月

南知多町長 石黒 和彦

ま え が き

生涯学習は、子どもから高齢者まで、誰もがより良い人生を送るために、年齢に関係なく取り組む学習のことです。本町では、生涯学習社会の実現に向け、平成14年に「南知多町生涯学習基本構想」を策定し、「やすらぎときらめきのまちづくり」を目標に、生涯学習に関する各種の施策を進めてまいりました。

このたび策定した南知多町生涯学習推進計画は、現行の生涯学習基本構想で定めた期間が満了となることに伴い策定したものです。これまで進めてきた各施策についての実績評価を行い、本町における現在の状況や課題を踏まえた計画となるよう準備を進めてまいりました。そして、住民アンケート調査、各種団体アンケート調査・ヒアリング調査などを通して、住民の皆様から可能な限りご意見を伺い、将来の南知多町のまちづくりに求められる生涯学習のあり方を探ってまいりました。

新しい生涯学習推進計画の目標は、「自ら学び 自ら動き みんなで共に楽しむまちづくり」です。「人が活きる」「地域が活きる」「絆が活きる」の三つの基本方針により、本町ならではの、そして、本町で実現可能な計画の策定に努めました。本計画の推進により、住民が生き生きと暮らし、地域内で互いに協力し合い、郷土への誇りを育めるようなまちとなれば幸いに存じます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、町民の代表の方々にご協力をいただきましたことに感謝いたしますとともに、この計画が着実に実行され、町民の皆様が充実した人生を送っていただけることを願っております。

南知多町教育委員会

目 次

はじめに	1
1 計画策定の背景と目的	1
2 計画の位置づけと期間	2

■ 第1部 生涯学習のめざすもの 3

第1章 まちづくりと生涯学習

1－1 生涯学習とは	4
1－2 これからの生涯学習	5

第2章 南知多町の現状と課題

2－1 南知多町の現状	6
2－2 アンケート調査の結果概要	11
2－3 南知多町における生涯学習の課題	13

■ 第2部 基本構想..... 17

第1章 南知多町の生涯学習がめざす将来像..... 18

第2章 基本方針..... 19

第3章 施策体系..... 20

■ 第3部 基本計画.....21

第1章 魅力的な生涯学習の推進.....	22
1－1 世代や多様な生活課題・町民ニーズに応じた学びの充実	22
1－2 南知多町ならではの学びの発掘・開発	24
第2章 魅力的な生涯スポーツの推進.....	25
2－1 生涯スポーツの普及	25
2－2 指導者の確保と養成	27
第3章 情報内容と発信の充実.....	28
第4章 学びの場の整備と活用.....	29
4－1 生涯学習関連施設の適切な維持管理	29
4－2 身近な地域における学びの場の整備	30
第5章 学習成果の発表・活用.....	31
5－1 学習サークル・グループの育成・支援	31
5－2 生涯学習指導者の育成・発掘	33
5－3 学習成果の発表機会の充実と活用	34
第6章 計画の実現に向けて.....	35
6－1 庁内推進体制の整備	35
6－2 町民参加による生涯学習の推進	35
6－3 教育機関・民間等との連携	35
第7章 重点的な取り組み.....	37
7－1 住民とともに取り組む生涯学習の推進	37
7－2 地域の誇り・愛着を育むプログラム	38
7－3 子育てパパ・ママが参加しやすい学びの場づくり	39
第8章 生涯学習の推進に関する成果指標.....	40
参考資料	41

はじめに

1 計画策定の背景と目的

本町では、平成 14 年に「南知多町生涯学習基本構想」を策定し、すべての町民が学びやすい環境を総合的に整備するための方策を進めてきました。

しかし、策定から 10 年が経過し、少子高齢化や人口減少の進行、家族の小規模化や地域のつながりの希薄化、家庭や地域の教育力の低下など社会環境は大きく変化しています。一方で、ボランティアや NPO 活動、地域活動、地域が持つ個性に注目した活動などが行われており、住民力・地域力に対する期待が高まっています。

生涯学習分野においては、平成 18 年に教育基本法が改正され、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない」とする、「生涯学習の理念(第 3 条)」が新たに定められました。また、平成 20 年、中央教育審議会の答申においては、これまでの自己実現型の生涯学習に加えて、地域課題解決のための生涯学習の必要性が示されるなど、生涯学習のあり方も転換期を迎えています。

こうした中、生涯学習は、町民一人ひとりの人生をより豊かにするとともに、社会との関わりを通してまちづくりと結び、地域やまち全体の活力につなげていく役割を担っており、町民の生涯学習をより一層支援することが求められています。

そこで、今後の生涯学習に関する施策を総合的に推進していくため、南知多町生涯学習推進計画を策定することとしました。

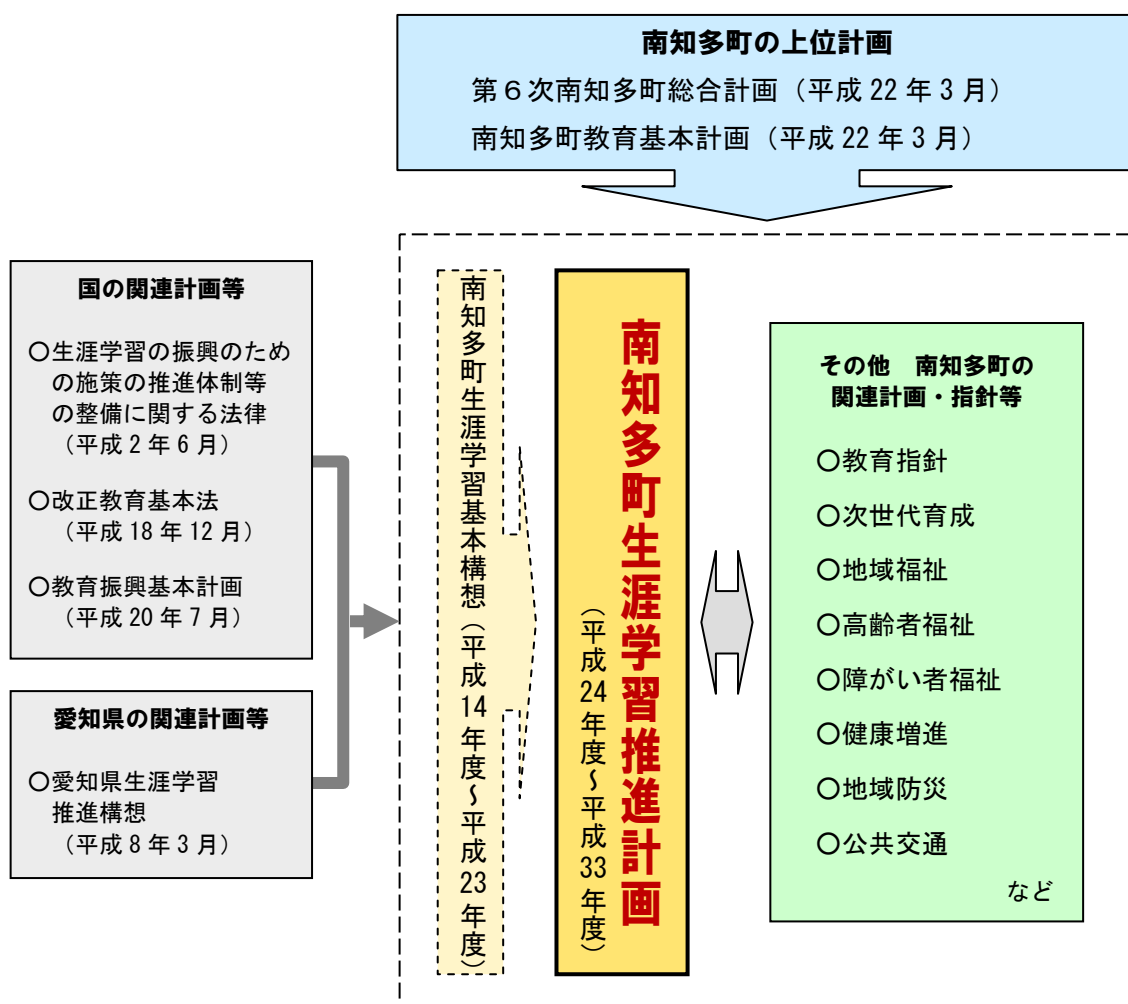
2 計画の位置づけと期間

平成 22 年 3 月に策定した「第 6 次南知多町総合計画」では、今後 10 年間を展望してまちづくりの基本理念を「太陽と海と緑豊かなまちづくり」、将来イメージを「人と自然！ みんなの汗で光るまち」としており、基本目標の一つに「心豊かな人を育むまちづくり」を掲げています。

本計画は、生涯学習という面からこの基本目標を推進し、将来イメージを実現する計画として位置づけます。

また、本計画の計画期間は平成 24 年度から平成 33 年度までの 10 年間とします。

図 本計画の位置づけ



第1部 生涯学習のめざすもの

第1章 まちづくりと生涯学習

1-1 生涯学習とは

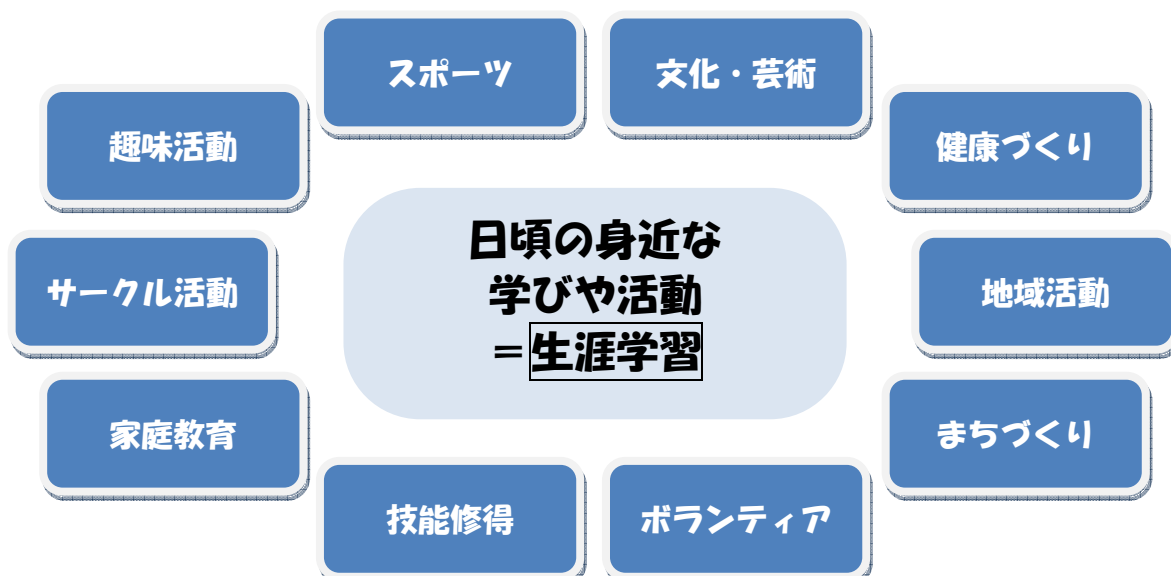
生涯学習とは、家庭教育・学校教育を基礎にしつつ、豊かで充実した社会生活を送るために必要な知識や技術の習得、教養を深めることを目指し、誰もが、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習する活動です。その活動は、一人ひとりの意欲に基づいて行う学習であり、必要に応じて自分にあった手段や方法を選んで生涯を通じて行うものです。

学校教育や社会教育のように意図的、組織的な活動の中で行われる学習だけでなく、個人が取り組む趣味、スポーツ、レクリエーション、健康づくり、地域活動、サークル活動、ボランティア活動を含めた多様な活動が対象となります。特別に何かをするということではなく、個人や仲間同士で楽しみながら、好きな時・場所で自分に適した学習活動をすることと言えます。

図1-1-1 生涯学習のキーワード



図1-1-2 生涯学習の対象イメージ図



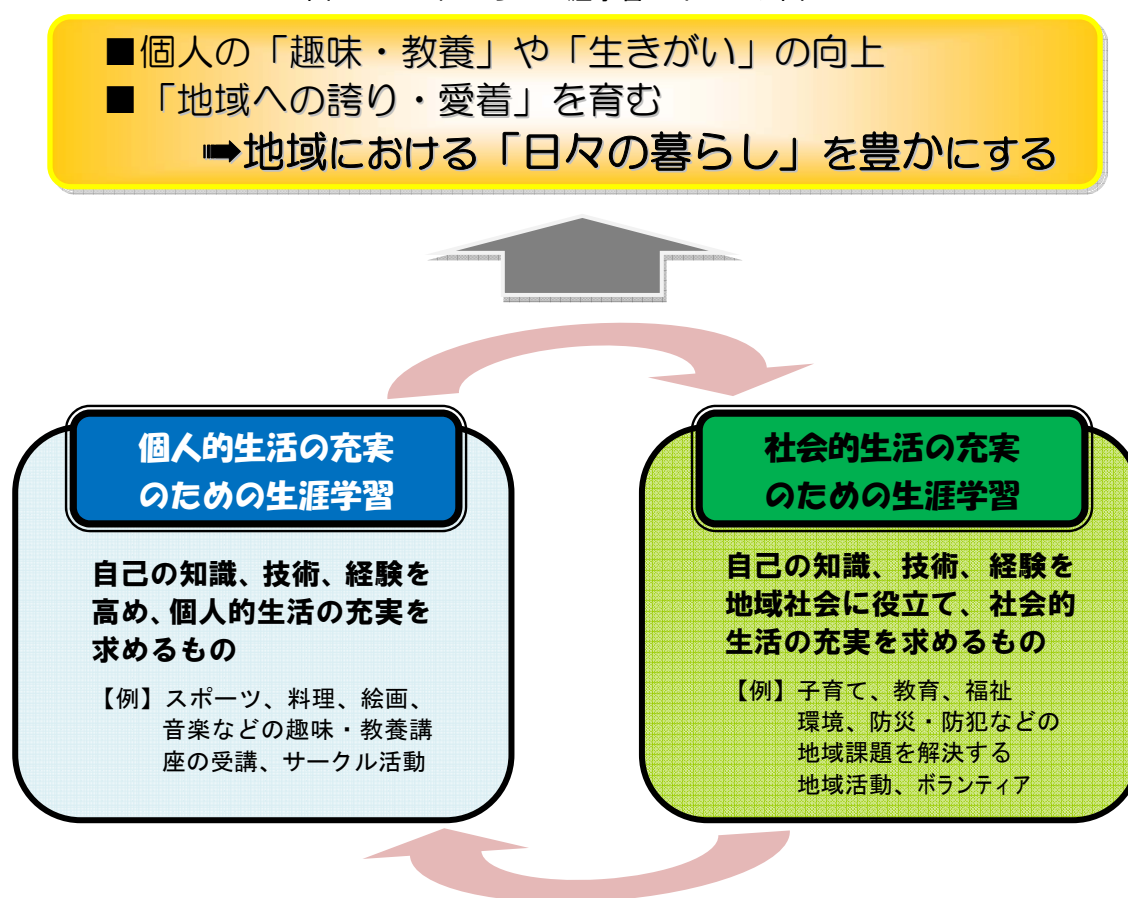
1-2 これからの生涯学習

本町では、平成22年3月に制定した「第6次南知多町総合計画」において『太陽と海と緑豊かなまちづくり～人と自然！みんなの汗で光るまち～』を基本理念及び将来イメージとして掲げており、その実現に向けて福祉、環境、産業、教育などの分野ごとの施策・事業に取り組んでいます。

まちの将来像の実現を担うのは、町民一人ひとりです。まちづくりは“人づくり”であり、生涯学習はその基盤となる重要な役割を担っていることから、心豊かな地域社会を築いていくために欠かすことのできない取り組みです。

町民一人ひとりが“学び”を通じて社会の変化に主体的に対応し、生涯にわたって豊かで生きがいのある生活を送る（個人的生活の充実）とともに、個々の学習や学習の成果が社会に活かされる「学びの循環」が地域の力となって豊かな地域づくりにつながっていくこと（社会的生活の充実）が求められます。

図1-2 これからの生涯学習のイメージ図



第2章 南知多町の現状と課題

2-1 南知多町の現状

（1）地勢・沿革

本町は、知多半島の先端部と沖合に浮かぶ篠島・日間賀島からなる、三方を海に囲まれた自然豊かなまちです。

町全体に小高い丘陵が広がっており、平地は沿岸部の一部分に限られ、市街地は港の周囲の平坦地を中心に発展してきました。

本町では縄文時代の遺跡が多数確認されており、古くから人々が生活していたことがわかっています。以後、漁労と稲作を中心とした生活が続いてきましたが、江戸時代以降には東西海上交通の要衝として海運業も盛んとなったほか、みかん栽培や醸造業も栄えてきました。

現在の主要な産業は農業、漁業、水産業及び観光業で、漁業については県下一の漁獲量（平成23年10月現在）を誇っています。

自然景観に恵まれ三河湾国定公園、南知多県立自然公園に指定されているとともに、名所・旧跡、文化財、伝統的な祭り等の観光資源や、海の幸や山の幸を活かした料理、マリンスポーツをはじめとした体験交流型観光プログラムが充実しているなど、自然を活かした観光が展開されています。

図2-1-（1） 南知多町の位置図



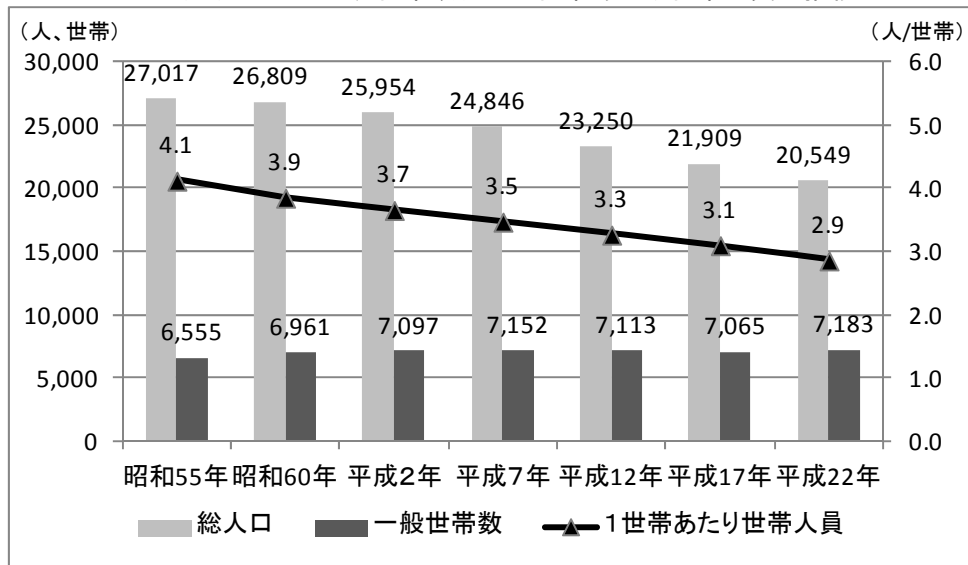
(2) 人口・世帯の状況

本町の人口は、昭和55年以降減少を続けており、平成22年には20,549人、30年前（昭和55年）よりも約6,500人少なくなっています。

一方、一般世帯数^{*}は平成17年から再び増加しています。平成22年には1世帯あたりの世帯人員が3人を下回り、核家族化が進展しています。

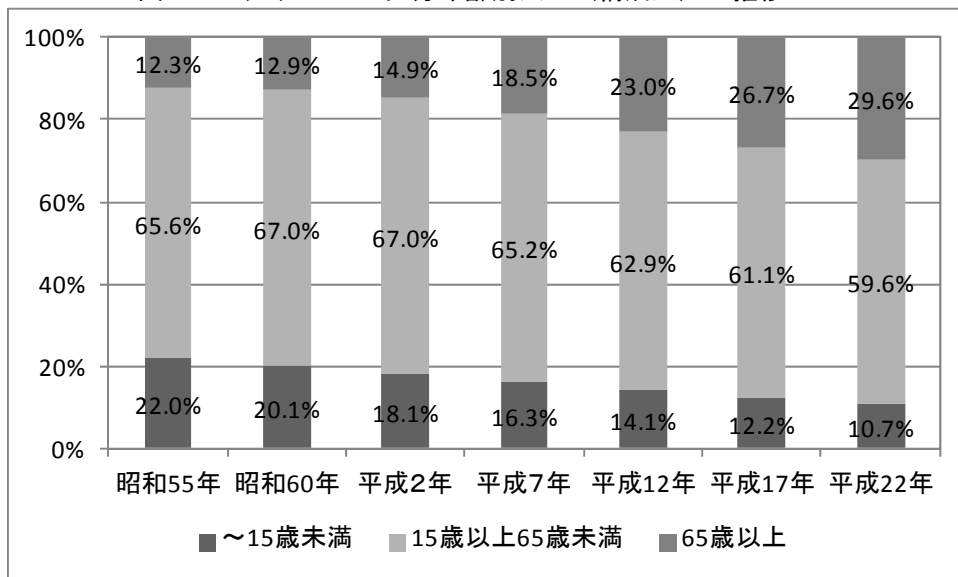
また、少子高齢化が進み、平成7年には年少人口（15歳未満）と老年人口（65歳以上）の割合が逆転しています。高齢化率は、平成22年には約3割となっています。

図2-1-（2）-1 人口、世帯数及び1世帯あたり世帯人員の推移



資料：国勢調査

図2-1-（2）-2 3区分年齢別人口（構成比）の推移



資料：国勢調査

（３）南知多町の生涯学習の現状

①南知多町の生涯学習推進の取り組み

本町では、平成 14 年 3 月に「南知多町生涯学習基本構想」を策定し、各種事業を展開してきました。

毎年、一般成人や小中学生、親子などの様々な世代を対象とした各種講座・教室を実施しています。講座・教室の充実を図るため、平成 23 年度からは町民からのテーマ提案を受けて講座を企画する新たな事業を開始しました。

一方、平成 15 年より観光ボランティアガイド養成講座を開催し、受講生によりボランティアガイドが設立され、生涯学習講座から実践へとつなげる地域活動への転換も図っています。

また、親子を対象とした教室、親子ふれあい広場やエンジョイクラブ、シネマフェスタを開催するとともに、家庭教育推進協議会を結成し、あいさつ運動を行うなど、特に子どもや親子を対象とした取り組みを充実しています。これらの取り組みは子育てサークルや読み聞かせグループなどとも連携して実施しています。

文化芸術活動としては、町民の文化及び芸術活動の成果を発表する南知多町芸能祭や南知多町文化展の開催、文化財マップ・指定文化財説明看板の作成等を行ってきました。

本町の貴重な歴史的観光資源である尾州廻船内海船船主内田佐七家については、平成 17 年度以降保存整備事業を進めており、現在は毎週土・日曜日および祝日に一般公開を行うとともに、文化行事を開催するなど社会教育の拠点としても活用しています。

生涯スポーツについては、リズム体操やミニテニスなどの教室、ミニテニス大会や日間賀島さわやかジョギング大会、町民綱引き大会などを開催するとともに、平成 23 年度には町制 50 周年事業としてウォーキング大会を開催しました。このウォーキング大会は今後も継続していく予定です。

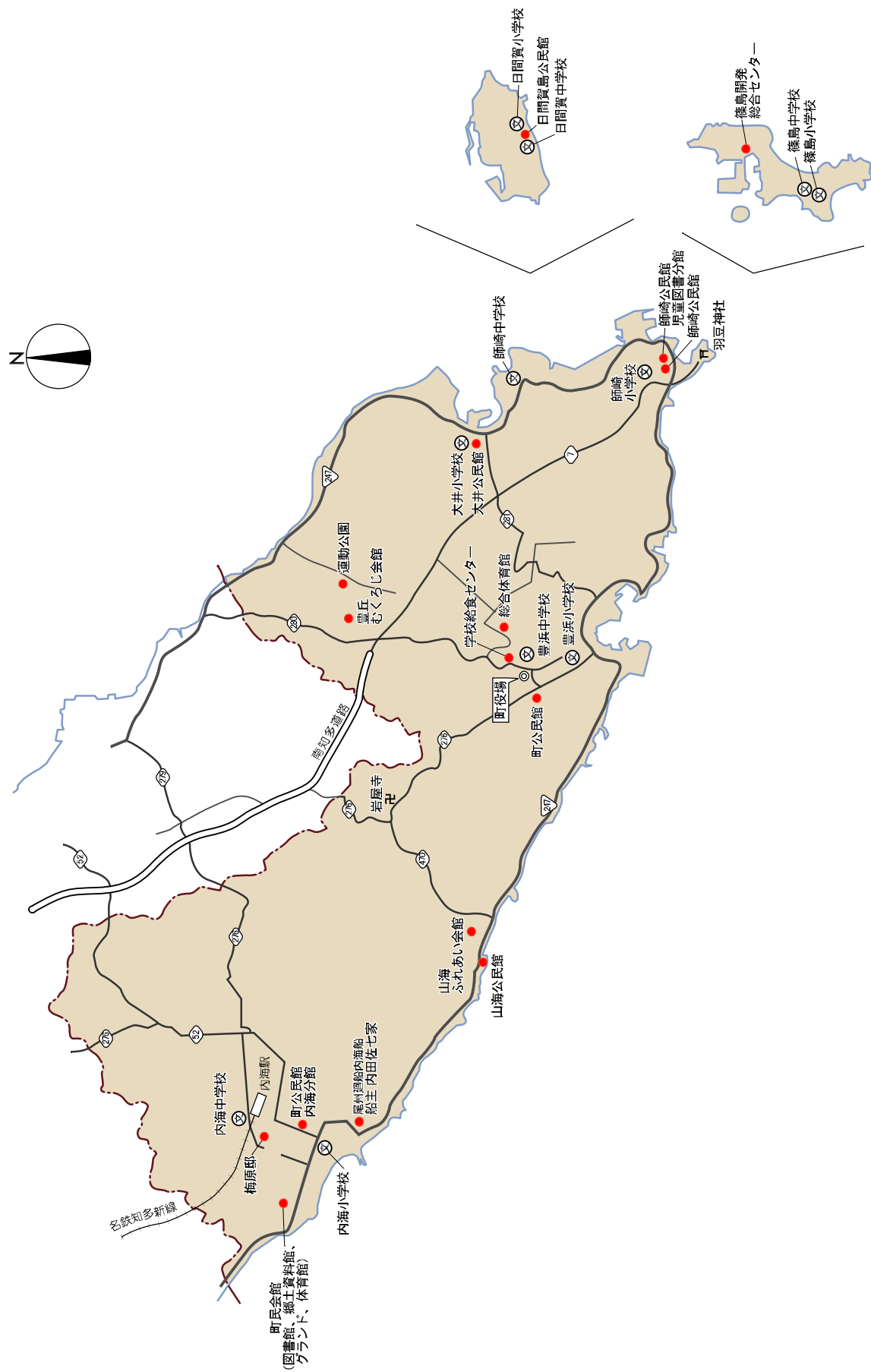
②平成22年度 公民館事業の内容と参加状況

No.	教室名		回数	開催場所	参加人数(延べ)
子ども対象の事業(小中学生とその保護者)					
1	親子星空教室		1	総合体育館および屋外	13 人(13 人)
2	親子うどん打ち体験教室		1	山海公民館	9 人(9 人)
3	薄板アート教室		2	総合体育館	3 人(6 人)
4	親子おもしろ実験教室		1	山海ふれあい会館	14 人(14 人)
5	エンジョイクラブ		4	町総合体育館、町公民館内海分館 師崎公民館、篠島開発総合センター	102 人(102 人) うち大人[24 人]
6	ガラス工芸教室		1	山海公民館	10 人(10 人)
一般成人等対象の事業					
1	夏休みシネマフェスタ 映画会		1	総合体育館	90 人(90 人)
2	しめなわ飾り教室 (一般成人、小学生以上の親子)		1	内田佐七家	11 人(11 人)
3	ガラス工芸教室 (一般成人)		3	山海公民館	12 人(21 人)
4	パソコン教室【入門】 (一般成人)		5	総合体育館	14 人(55 人)
	パソコン教室【初級】 (一般成人)		5		
5	春のシネマフェスタ	おはなしひろば	1	総合体育館	40 人(40 人)
		映画会	1		40 人(40 人)
合計11教室					358 人(411 人)

③社会教育施設及び総合体育館の概要と利用状況

名称	開設年月日	延床面積 (㎡)	利用者数	
			平成22年度(人)	平成21年度(人)
町総合体育館	平成3年4月1日	5,050.2	47,454	51,091
町民会館図書室	平成7年10月20日	439.5	4,456	4,189
郷土資料館	昭和52年8月1日	699.2	576	590
町公民館内海分館	昭和48年4月1日	1,137.0	9,494	14,522
山海公民館	平成7年4月1日	453.3	5,790	6,078
山海ふれあい会館	平成21年4月1日	2,260.0	3,854	1,883
町公民館	昭和48年4月1日	479.0	2,424	1,244
豊丘むくろじ会館	平成20年4月1日	710.8	6,694	1,341
大井公民館	昭和51年3月1日	500.4	7,530	11,433
師崎公民館	昭和57年4月1日	610.4	15,377	12,702
師崎公民館児童図書分館	平成5年7月21日	189.3	1,278	1,409
篠島開発総合センター	昭和55年7月1日	991.9	14,611	13,250
日間賀島公民館	昭和54年4月1日	499.8	7,747	10,931
梅原邸	平成3年7月8日	384.1	165	283
尾州廻船内海船主内田佐七家	平成18年12月1日	892.2	2,899	2,752
合 計		15,297.10	130,349	133,698

南知多町生涯学習マップ



2-2 アンケート調査の結果概要

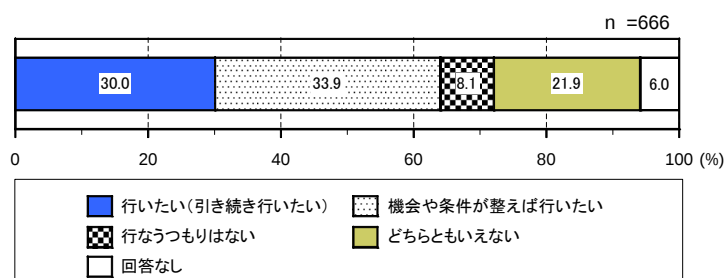
生涯学習に関する町民の意見や考え方、学習活動等への参加状況やニーズ等について把握するため、下記の内容でアンケート調査を実施しました（以下、本調査を「アンケート調査」と言います）。

【アンケート調査の概要】

- ・調査対象：南知多町在住の18歳以上の男女
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収
- ・調査時期：平成23年9月～10月
- ・配布数：1,500票
- ・有効回収数：666票
- ・有効回収率：44.4%

①今後の生涯学習活動の意向

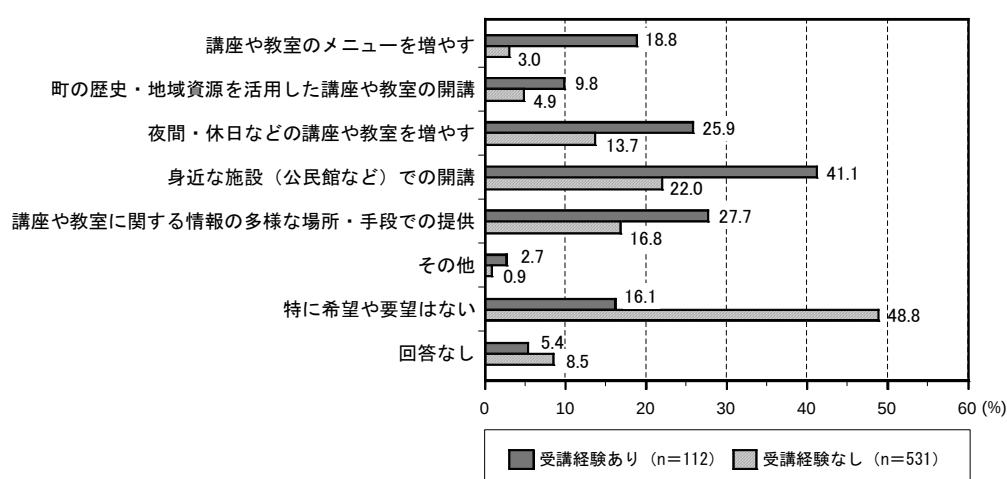
あなたは、今後（または引き続き）、何らかの生涯学習活動を行いたいと思いますか。
【〇は1つ】



◆今後の生涯学習活動の意向は、「行いたい（引き続き行いたい）」が30.0%、「機会や条件が整えば行いたい」が33.9%と、6割以上の人が行いたいと思っています。

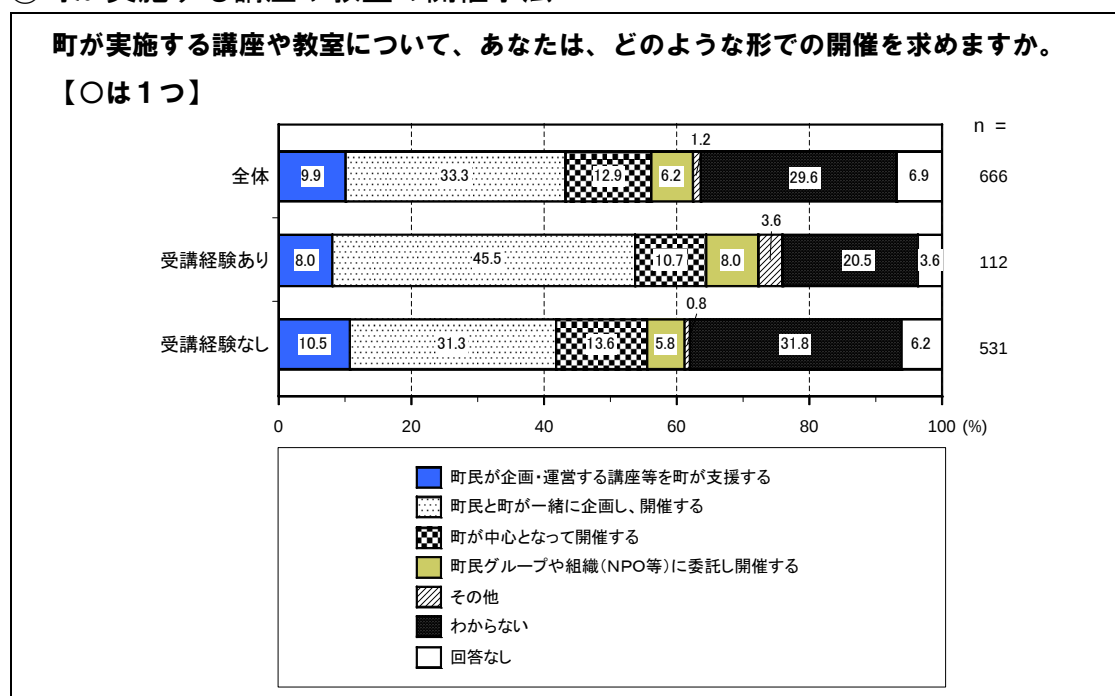
②南知多町が主催している講座や教室への希望や要望

町主催の講座や教室について、ご希望やご要望はありますか。【〇はあてはまるもの2つまで】



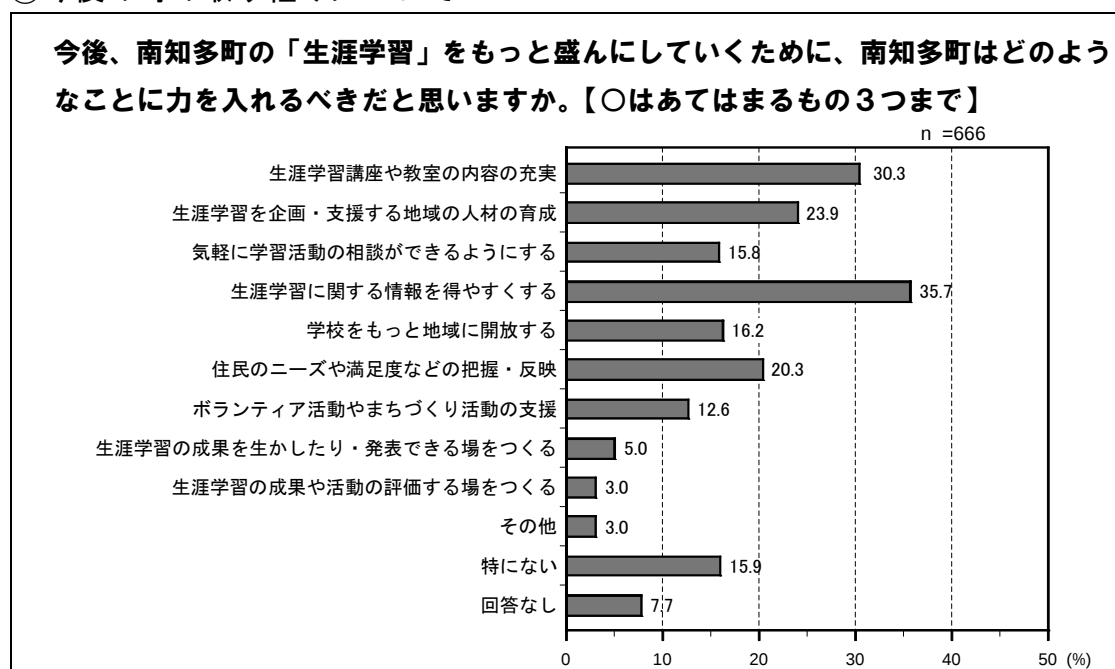
◆町主催の講座や教室への希望や要望は、「身近な施設（公民館など）での開講」、「講座や教室に関する情報の多様な場所・手段での提供」、「夜間・休日などの講座や教室を増やす」が多くなっています。

③町が実施する講座や教室の開催手法



◆町が実施する講座や教室の開催手法について、「町民と町が一緒に企画し、開催する」が 33.3%と最も多く、次いで「町が中心となって開催する」が 12.9%、「町民が企画・運営する講座等を町が支援する」が 9.9%となっています。

④今後の町の取り組みについて



◆南知多町の「生涯学習」を盛んにするために力を入れるべきこととして、「生涯学習に関する情報を得やすくする」が最も多く、次いで「生涯学習講座や教室の内容の充実」、「生涯学習を企画・支援する地域の人材の育成」、「住民のニーズや満足度などの把握・反映」が多くなっています。

2-3 南知多町における生涯学習の課題

（１）生涯学習講座の魅力向上と南知多町ならではの生涯学習

①町民のニーズ、時代の要請に応じた生涯学習の充実

町民のニーズに対応するため、講座・教室の企画に住民の声を取り入れるマイスタディ講座やマイプロデュース講座を普及していくことが重要です。また、幼年期から老年期までライフステージ※における各段階の課題を検討しながら企画を行っていく必要があります。

一方、現在は自己実現型の趣味的な生涯学習だけではなく、現代的課題や地域課題の解決といった時代の要請に応える学習活動に対する支援も求められています。

②南知多町ならではの生涯学習活動の充実

少子高齢化が進み、地域の後継者育成が重要な本町において生涯学習を通じた地域への愛着づくりも重要な課題です。海や山などの自然、貴重な文化財や歴史資源、豊浜鯛まつりをはじめとする伝統行事など、豊富な地域資源を活用しながら南知多町ならではの生涯学習活動の充実が求められています。

（２）健康づくり、生涯スポーツの意向の高まりへの対応

高齢者を中心として、町民の健康づくりに対する意識は高まっています。また、日常生活の中でスポーツ、レクリエーションに取り組むことは、心身の健康を保つという点からも非常に重要です。

若い世代が身近でスポーツを楽しめる機会や、高齢者を中心とした町民の健康・生きがいづくりとなるような、気軽に参加できるレクリエーション機会の充実と、適切な指導を行うことができる人材の育成が求められています。

（３）生涯学習に関する情報発信の充実

町民の情報ニーズに対応するため、各種講座・教室、イベントの情報、施設やサークル・グループの情報などの生涯学習に関する情報の収集・整理を行うとともに、生涯学習に関する情報を得やすくするため、多様な情報媒体を積極的に活用して発信していく必要があります。

（４）生涯学習関連施設の整備・維持管理

①老朽化が進む施設の計画的な維持管理

既存施設や設備については全体的に老朽化しており、適宜修繕が必要となっていますが、財政的な課題もあることから、定期的に設備面の点検を行いながら計画的に既存施設・設備の修繕・整備を行うことが必要です。

また、既存施設を利用しやすい施設としていくためには町民も交えた維持管理の仕組みを検討していくことが必要です。

②身近な地域における学習の場・環境の整備

高齢化などによって移動手段が困難であったり、身近な施設での学習活動に対する要望も強いことから、各地区にある公民館などの身近な施設を活用した生涯学習の場の整備が求められています。あわせて、現在スポーツ登録団体に開放している小中学校の体育施設の、より利用しやすい手続きの検討も必要です。

（５）人材・グループなどの育成と成果活用・発表機会の充実

①学習サークル・グループの育成とネットワークづくり

公民館などの講座受講者が、自主的に学習サークルをつくり学習を継続できるよう支援していくことが必要です。また、活動の活性化と魅力向上を図るため、町内外の学習サークル・グループとのネットワークづくりも求められています。

②地域の人の知恵や経験の活用、生涯学習指導者の養成

貴重な知恵や経験を豊富に持つ町民の方や地域の民間企業、学生などを発掘するとともに、現在十分に活用されていない町内指導者の登録制度の整備・運用が課題となっています。

また、生涯学習指導者を養成するため、必要な知識技能を習得する養成講習会などを実施することも必要です。

③学習活動の成果発表・活用機会の充実

町民の学習活動意欲を高めるためには、貴重な発表機会である既存イベントの充実を図るとともに、日常的な発表機会の創出も必要です。

また、学習成果を活用した先進事例の紹介など学習成果をいかに地域や社会との関わりにつなげていくかという支援の検討が必要です。

（６）庁内推進体制の整備と各主体との連携強化

①職員の資質向上と庁内推進体制の整備

生涯学習は幅広い分野に関係することから、関係する施策や事業を整理することも重要です。また、施策・事業実施に生涯学習としての視点を踏まえてもらえるよう、職員の生涯学習への理解が深まる研修の実施や、職員の講座企画能力、コーディネート能力を培う研修機会の創出が必要です。

全庁的に生涯学習を推進していくため、庁内の推進組織について検討していく必要があります。

②町民や民間事業所、教育機関等との連携強化

町民のニーズを的確に把握するため生涯学習講座に関する意見交換や報告会を開催したり、町民を交えた生涯学習推進組織を整備するなど、町民と行政との協働による生涯学習を推進する必要があります。

また、地域全体で生涯学習を推進していくために、民間事業所や各小中学校、高校、大学等の高等教育機関などと協力・連携した生涯学習の推進が必要です。

第2部 基本構想

第1章 南知多町の生涯学習がめざす将来像

本町は、豊かな自然と快適な生活環境に恵まれるとともに、海の恵みを受けて育まれた独自の伝統文化を持っています。この美しい自然や伝統を守り育て、次の世代へ引き継いでいくことが、私たち住民の使命です。

このために、子どもから高齢者まで、町民一人ひとりが、様々な形で学習活動に取り組むことでお互いの個性や能力を伸ばし、生きがいに満ちた毎日を送るとともに、豊かな地域づくりという共通の目標に向けて、共に学び合いお互いの知恵や経験を活かし合っていくことが求められます。

そこで、本町の生涯学習がめざす将来像と、具体的な取組を推進していくための基本方針を以下のように掲げて、町民と行政、関係機関が一体となって協働型で推進していくものです。

【南知多町の生涯学習がめざす将来像】

**自ら学び 自ら動き
みんなで共に楽しむ まちづくり**

基本方針① **人が活きる** ～地域の人がいきいきと活動するまち

基本方針② **地域が活きる** ～地域の自然や伝統が息づくまち

基本方針③ **絆が活きる** ～家庭・地域・学校が融合するまち

第2章 基本方針

基本方針① **人が生きる**～地域の人がいきいきと活動するまち

多様化する市民のニーズに対応して、個人の生活を豊かにし生きがいに満ちた地域を形成するために、市民の主体的な参加・協力による生涯学習講座等の魅力向上を図ります。

また、世代や組織を越えた交流・ふれあいを通じて互いの知恵や経験を共有し、地域の担い手として育むための生涯学習を推進します。



基本方針② **地域が生きる**～地域の自然や伝統が息づくまち

自然環境や歴史・文化、風習、産業、暮らしの知恵など、南知多の“宝”とも言える地域固有の多様な資源の魅力を学び、理解し、次の世代に継承するための取り組みを推進します。

また、そうした資源を活用した学習活動により、地域の多様な人材を発掘・育成するとともに、そこでの具体的な活動の成果をまちづくりに活かしたり、関係者の連携強化を図るなど、地域活性化に結びつけていきます。



基本方針③ **絆が生きる**～家庭・地域・学校が融合するまち

地域社会全体の教育力の向上にむけて、家庭・地域・学校がそれぞれの持つ教育機能を活かしながら、互いに協働することにより、伝統文化や地域の生活課題などについて世代を越えて学び合い・かわり合い・認め合いの協働を積み重ねる社会を推進します。



第3章 施策体系

【将来像】

**自ら学び 自ら動き
みんなで共に楽しむ まちづくり**

【基本方針】

- ① **人が活きる** ～地域の人がいきいきと活動するまち
- ② **地域が活きる** ～地域の自然や伝統が息づくまち
- ③ **絆が活きる** ～家庭・地域・学校が融合するまち

【基本計画】

第1章 魅力的な生涯学習の推進

- 1-1 世代や多様な生活課題・町民ニーズに応じた学びの充実
- 1-2 南知多町ならではの学びの発掘・開発

第2章 魅力的な生涯スポーツの推進

- 2-1 生涯スポーツの普及
- 2-2 指導者の確保と養成

第3章 情報内容と発信の充実

第4章 学びの場の整備と活用

- 4-1 生涯学習関連施設の適切な維持管理
- 4-2 身近な地域における学びの場の整備

第5章 学習成果の発表・活用

- 5-1 学習サークル・グループの育成・支援
- 5-2 生涯学習指導者の育成・発掘
- 5-3 学習成果の発表機会の充実と活用

第6章 計画の実現に向けて

- 6-1 庁内推進体制の整備
- 6-2 町民参加による生涯学習の推進
- 6-3 教育機関・民間等との連携

第7章 重点的な取り組み

- 7-1 住民とともに取り組む生涯学習の推進
- 7-2 地域の誇り・愛着を育むプログラム
- 7-3 子育てパパ・ママが参加しやすい学びの場づくり

第8章 生涯学習の推進に関する成果指標

第3部 基本計画

第1章 魅力的な生涯学習の推進

1-1 世代や多様な生活課題・町民ニーズに応じた学びの充実

（１）現状と課題

本町では、子どもから高齢者までを対象とした様々な講座・教室を実施していますが、全体的に参加率は低い状況です。

しかし、アンケート調査では、現在学習活動をしている人も含めて、今後学習活動を行いたい（引き続き行いたい）、もしくは条件や機会が整えば行いたい人は約6割となっており（P11 参照）、学習活動に対するニーズは高まっています。

また、今後、学習活動を行うために必要な機会・条件として、魅力ある講座や教室の開講や、自分にとって必要だと感じるものが上位項目となっており（P45 参照）、その内容は世代によって様々です。

一方で、今日、私たちを取り巻く社会情勢は、少子高齢化や国際化の急速な進展、環境問題など急激に変化しており、多様な現代的課題、地域的課題があふれています。これらの課題の解決に向けた学習活動に対する支援も求められています。

平成23年度より町民からテーマの提案を募集して講座を開講するマイスタディ講座や、町民がテーマの設定、講師の選任等を行うマイプロデュース講座を実施しています。これらの事業の周知を図りながら、町民の世代・ニーズ、時代の要請に対応した講座・教室の企画が求められています。

（２）施策の方針

①世代に応じた学びの充実

- ・ 幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのライフステージ*に応じた学習ニーズに対応するため、学習機会の充実に努めます。

②多様な生活課題に応じた学びの充実

- ・ 高齢化、安全・安心、環境問題、情報化、国際化、男女共同参画など、現代的課題に適切に対応していくため、それぞれの学習機会の充実に努めます。

③町民ニーズに応じた気軽に参加できる学び・環境の充実

- ・ マイスタディ講座、マイプロデュース講座など、住民が講座・教室等の企画・実施に積極的に関わることができる事業の活用を推進します。

(3) 主要施策・事業

主要施策・事業名	内容	関係課
■子ども		
次世代育成支援行動計画に基づいた事業の実施	次世代育成支援行動計画に位置づけられた子育て、家庭教育に関する事業を実施する。	福祉課 社会教育課
けんこう南知多プラン※に基づいた事業の実施	けんこう南知多プランに位置づけられた子育て、家庭教育に関する健診、教室、相談事業を実施する。	保健介護課 福祉課 社会教育課
親子ふれあい広場	子育てグループや子育てネットワーク※と協力して親子のための講座を開催する。	社会教育課
■青少年		
次世代育成支援行動計画に基づいた事業の実施	次世代育成支援行動計画に位置づけられた青少年に関する事業を実施する。	福祉課 社会教育課
エンジョイクラブ	学校週5日制に対応して、土曜日に地域指導者によって、スポーツ・文化活動を実施する。	社会教育課
けんこう南知多プラン※に基づいた事業の実施	小中学校において、けんこう南知多プランに位置づけられた教室、講座を実施する。	保健介護課
家庭教育教室出前講座	小中学校において各種講演会、出前講座を開催する。	社会教育課
国際理解教育の充実	A L T※の充実を図り、児童・生徒を対象とした国際理解教育を推進する。また、国際交流事業を実施する。	企画情報課 学校教育課
■成人		
環境美化清掃活動	地区の一斉清掃をはじめ、農道、水路などの環境美化清掃活動を推進し、町民の環境美化意識の高揚を図る。	環境課
国際交流事業の充実	語学講座、外国料理教室、文化交流会（多文化交流事業）など、外国人と日本人との交流事業を実施する。	企画情報課 社会教育課
男女共同参画セミナー	男女共同参画を普及するための講座を実施する。	企画情報課 社会教育課
■高齢者		
高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づいた事業の実施	高齢者福祉計画・介護保険事業計画に位置づけられた、高齢者の生きがい・健康づくりに関する介護予防事業を実施する。	保健介護課
けんこう南知多プラン※に基づいた事業の実施	けんこう南知多プランに位置づけられた高齢者の生きがい・健康づくりに関する事業を実施する。	保健介護課 社会教育課

1-2 南知多町ならではの学びの発掘・開発

(1) 現状と課題

本町は、海や山、田畑等の豊かな自然と、歴史、文化財、生活文化、貴重な技術をもつ町民に恵まれています。しかし、こうした地域資源を活用していない町民が多いと考えられます。また、少子高齢化が進んでおり、地域の後継者育成も重要な課題となっています。

アンケート調査や団体ヒアリングでも、地域において、畑のつくり方やガーデニング等の農業・園芸に関することや釣りや魚のさばき方等の漁業に関すること、地域の歴史資源・文化、伝統行事等に関することなどを学びたいという意見がみられます（P49 参照）。

このような中、学校や民間団体等様々な主体において、稲作や漁業等の体験プログラムを実施しています。さらに、身近な地域においても地域性を活かした学習の機会を充実させ、地域への愛着づくり、生涯学習のきっかけづくりとなるような取り組みが求められています。

(2) 施策の方針

①南知多町ならではの体験プログラムの開発

- ・地域住民や民間団体等と連携しながら、自然、歴史、文化等の地域資源を活用し、農漁業、観光業などの体験プログラムやイベントの充実を図ります。

②文化遺産や地域資源を活用した学習機会の創出

- ・観光ボランティアや地域住民等と連携しながら、地域の文化や歴史、郷土を学ぶ学習機会の充実を図ります。

(3) 主要施策・事業等

主要施策・事業名	内容	関係課
多様な体験活動	自然に親しむ学習など、豊かな情操や自然愛護の精神を育む体験活動を推進する。	学校教育課 社会教育課
社会人活用事業	社会人を活用して、子どもを対象とした、農漁業をはじめとする各種体験事業を実施する。	社会教育課 学校教育課
	地域の人材や素材等を授業に活用するとともに、地域との交流を推進する事業を実施する。	学校教育課
	観光ボランティアや地域住民等と連携しながら、地域の文化や歴史、郷土を学ぶ学習機会を設ける。	社会教育課
産業まつり推進事業	農業、漁業、商工業、観光等を町内外へ紹介する産業まつり推進協議会事業費を補助する。	商工観光課

第2章 魅力的な生涯スポーツの推進

2-1 生涯スポーツの普及

（１）現状と課題

生涯を通じて健康な身体と豊かな心を育むことは、明るく生きがいに満ちた生活を送る上でも欠かすことができません。アンケート調査（P46 参照）からも、健康づくりに対する町民のニーズは高くなっており、若い世代ではスポーツに取り組みたい人が多くなっています。

本町では、町、町体育協会及び各種競技団体主催の大会や、親子体育教室やミニテニス教室等の各種スポーツ教室、一般成人を対象とした体力テスト会等を定期的に行っています。しかし、近年は、人口減少や高齢化等により競技人口や参加者が少ない状況です。

子どもから高齢者までが安全で楽しく生きがいを持てる、身近で気軽に楽しめるスポーツやレクリエーションの環境の充実が求められています。

（２）施策の方針

①健康・生きがいづくりのための気軽に参加できるスポーツの普及

- ・ウォーキングなど誰もが無理なく楽しめる軽スポーツ、ニュースポーツなど魅力的な講座やイベントを開催する等、気軽に参加できるスポーツの普及に努めます。

②自主的なスポーツクラブの育成・支援

- ・町体育協会を中心とした各種競技団体やスポーツ少年団などの、自主的なスポーツクラブの支援に努めます。
- ・健康づくりを行いながら地域間交流ができるような、身近な地域単位での活動の基盤づくりを行います。

③高レベルのスポーツにふれる機会の充実

- ・町民が、大学生や社会人などの高い技術を持った人に指導を受ける機会の創出に努めます。

④総合型地域スポーツクラブの検討

- ・町民の豊かなスポーツライフを実現するため、総合型地域スポーツクラブの創設については、関係機関と連携し検討していきます。

(3) 主要施策・事業等

主要施策・事業名	内容	関係課
町体育協会補助事業	町体育協会に助成し、スポーツ団体の育成・組織強化を図る。	社会教育課
スポーツクラブ・サークルの育成支援	スポーツ活動を通して、青少年の健全育成を図ることを目的としたスポーツクラブ・サークルを育成するとともに、活動を支援する。	社会教育課
身近な地域における健康づくり組織の育成・支援	地域単位での健康づくりの基盤づくりを行うとともに、普及活動を支援する。	保健介護課 社会教育課
質の高いスポーツ教室の開催	大学生や社会人などの高い技術を持った人に指導を受けるスポーツ教室を開催する。	社会教育課

2-2 指導者の確保と養成

（１）現状と課題

地域住民のスポーツ活動や健康づくりへのニーズが高まっているなか、質の高い技術・技能を有するスポーツ指導者の養成が求められています。

体育指導者の養成については、大会・研修会などに積極的に参加し、その資質の向上に努めています。各種競技団体においても審判講習会を開催する等、優れた指導者の育成を図っていますが、人口減や高齢化などにより、その確保は困難となってきています。

また、身近な地域における健康づくり・スポーツ活動を推進するため、活動に対するアドバイスやサポートを行う人材の育成・発掘も求められています。

（２）施策の方針

①スポーツ推進委員の資質向上

- ・スポーツ推進委員のコーディネーターとしての資質向上のため、各種大会や研修会への参加を促します。

②生涯スポーツ指導者の発掘・育成

- ・町民の指導者の養成や潜在的な指導者の発掘・確保に努め、さらに活用についても検討します。
- ・生涯スポーツ指導者を地域に派遣できる仕組みづくりを行います。

（３）主要施策・事業等

主要施策・事業名	内容	関係課
各種大会・研修会への派遣事業	指導者の資質向上を図るため、各種大会・研修会に受講者として派遣する。	社会教育課

第3章 情報内容と発信の充実

（１）現状と課題

生涯学習を行うには、その学習機会の充実とあわせて、生涯学習に関連する情報をわかりやすく提供し、必要な時に取得できるような環境をつくる必要があります。

学習活動は、町だけではなく、県や近隣市町、大学等の教育機関や民間団体などが実施しており、情報も各々が独自に提供しています。

本町では、主に広報みなみちたを活用して情報提供を行っていますが、情報機器の進展、普及に伴い、情報の発信方法も多様化していることから、より効果的な発信方法で情報を提供していく必要があります。

アンケート調査では、本町の生涯学習を盛んにするために力を入れるべきこととして「生涯学習に関する情報を得やすくする」が最も多く（P12 参照）、一方、団体ヒアリング調査でも、地域で活動している同様な学習サークル・グループの状況が分からないという声が聞かれ、学習サークル・グループの情報提供が求められています。その内容として、町などの公共機関や民間が行う講座・教室、講演会・イベント等の情報に加えて、活動できる施設や学習サークル・グループの情報など多岐にわたっています。

（２）施策の方針

①町や関係機関・団体等の生涯学習に関する情報収集・整理

- ・町や関係機関・団体等が実施している生涯学習に関する情報を集約します。
- ・講座・教室の情報だけではなく、活動できる施設の情報など幅広い情報を提供します。

②多様なメディアによる情報提供

- ・広報みなみちた、ホームページ、ケーブルテレビ、地域の回覧版、学校からの情報提供など、多様な方法でわかりやすい情報発信を行います。

（３）主要施策・事業等

主要施策・事業名	内容	関係課
生涯学習情報の発信事業	町や関係機関・団体等が実施する講座・イベント情報、施設情報、学習サークル・グループ情報などをわかりやすく提供する。	社会教育課 講座・教室関係課

第4章 学びの場の整備と活用

4-1 生涯学習関連施設の適切な維持管理

(1) 現状と課題

本町には各地区公民館、総合体育館など多くの社会教育・社会体育施設があります。いずれの施設についても老朽化が進んでおり修繕が必要な状況です。また、高齢化が進む本町においては、高齢者や障がい者などが利用しやすい施設への対応が必要となっています。

地域住民の意見を反映しつつ、時代に応じた施設のあり方を踏まえて、計画的に修繕・整備していくことが必要です。

また、設備面についても老朽化が進んでいることから、適宜、修繕・交換を行う必要があります。

一方、施設やグラウンドなどの清掃、整備、草刈りなどを通じて、利用者とともに適正な維持管理に努める必要があります。

(2) 施策の方針

- ・生涯学習関連施設・設備について定期的な点検を行います。
- ・財政状況を踏まえながら、計画的に施設・設備の改修・改築による整備を進めます。

(3) 主要施策・事業等

主要施策・事業名	内容	関係課
生涯学習関連施設・設備の整備・修繕	生涯学習関連施設・設備の定期的な点検と整備・修繕を行う。	社会教育課
尾州廻船主内田家保存整備事業	尾州廻船内海船船主内田佐七家の家屋の修復工事を行うとともに有効活用する。	社会教育課
文化財施設整備事業	町郷土資料館や梅原邸の整備を行う。	社会教育課

4-2 身近な地域における学びの場の整備

(1) 現状と課題

現在、本町では総合体育館を中心に、町主催の講座や教室を開講しています。しかし、本町は高齢化が進んでおり、地域内における交通手段にも限りがあることから、総合体育館に通うことが難しい人が増えています。

一方、アンケート調査でも、町が主催している講座や教室への希望や要望は30代以上において「身近な施設（公民館など）での開講」が1位となっています（P11 参照）。

本町では、各地区に公民館等があることから、これらを活用した身近な地域での学びの場の整備が求められています。

また、現在、町内にある全ての小中学校の体育施設をスポーツ登録団体に開放しています。しかし、その利用手続きについて、より利用しやすい手続きの検討が求められています。

(2) 施策の方針

① 身近な地域における学びの場の整備

- ・各地区にある公民館や老人憩いの家等を活用した多くの人が気軽に集える場、身近な生涯学習の実践の場の整備について、あり方や運営・維持管理方法などを地域住民とともに検討します。
- ・身近な地域における学びの場の運営や維持管理を地域住民とともに進める方策について、地域住民とともに検討します。

② 利用しやすい手続きの検討

- ・学校施設や公民館などの利用について、町民がより利用しやすい手続きに関する検討を行います。

(3) 主要施策・事業等

主要施策・事業名	内容	関係課
学校体育施設開放事業	小中学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で町民利用に供する。	学校教育課 社会教育課
身近な生涯学習の場の整備に向けた検討	公民館や老人憩いの家等を活用した身近な生涯学習の場の整備、運営・維持管理の方法等について、地域住民とともに検討する。	社会教育課 保健介護課
町の施設の利用手続きに関する検討	学校施設や公民館などの利用手続きについて、地域住民とともに検討する。	学校教育課 社会教育課

第5章 学習成果の発表・活用

5-1 学習サークル・グループの育成・支援

（１）現状と課題

町が主催する講座の受講者にとって、講座が継続的な学習活動につながるような支援が求められています。

現在、本町では、学習サークル・グループが自主的かつ主体的に活動し、町内外で活躍していますが、いくつかの学習サークル・グループにおいて、メンバーの高齢化や後継者不足が課題として挙げられています。

一方で、アンケート調査では、生涯学習を行う上で必要な情報の内容として「地域で活動しているサークル・グループの情報」が多くなっています（P51 参照）。町内で活動する学習サークル・グループについて町民に周知を図る必要があります。

また、多くの団体においては、会員の交流範囲が当該団体内に留まる傾向があります。団体ヒアリング調査では、活動に対する学びの場として、町内外の学習サークル・グループと交流する機会づくり等、活動の魅力向上や活性化に向けた支援の充実が求められています。

（２）施策の方針

①自主的な学習サークル・グループの育成・支援

- ・講座受講者が継続的に学習できるよう、学習サークル・グループの情報を広く町民に周知したり、活動を支援するなど、自主的な学習サークル・グループの育成を図ります。
- ・活動を進める上での課題を解決していくための手法や、活動の内容をより魅力的にしていけるための方法などが学べる講座を企画します。
- ・学習サークル・グループに関する情報を収集・整理し、パンフレットを作成する等、広く町民に周知します。

②町内外の学習サークル・グループのネットワークづくり

- ・各学習サークル・グループの活動の魅力向上を図るため、交流会を開催する等、町内外の学習サークル・グループのネットワークづくりを進めます。

(3) 主要施策・事業等

主要施策・事業名	内容	関係課
町体育協会補助事業	町体育協会に助成し、スポーツ団体の育成・組織強化を図る。	社会教育課
文化団体育成事業	町文化協会をはじめとする各文化団体の活動を支援する。	社会教育課
地域振興等支援事業	地域が持つ特性や伝統等を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、自ら考えた地域振興事業を行った団体に対し補助金を交付する。	企画情報課
子育てサークル支援事業	コパンダクラブ、親子ふれあいひろば等の活動を支援する。	社会教育課
スポーツクラブ、文化サークルの育成支援	スポーツ、文化活動を通して、健全育成を目的としたスポーツクラブ、文化サークルの育成を図るとともに、活動を支援する。	社会教育課
学習サークル・グループ等の情報をまとめた冊子の発行	地域で活動している学習サークル・グループ等の情報を幅広い人に提供するため、その情報をまとめた冊子を作成し、発行する。	社会教育課
学習サークル・グループの相談体制の充実	学習サークル・グループ活動の相談に対応できる体制を整える。	社会教育課
学習サークル・グループ間の交流の場の整備	学習サークル・グループ間で、交流や意見交換ができるような機会を提供する。	社会教育課

5-2 生涯学習指導者の育成・発掘

(1) 現状と課題

地域には、仕事や人生経験、趣味等を通して優れた知識や技能を持つ人が多く存在しています。特に、本町は様々な知識・技能をもつ町民の方が多く、その技能を発揮してもらうための環境づくりが求められています。

現在、本町には生涯学習指導者（ボランティア）登録制度が創設されていますが、登録者が少なく、活用されていない状況です。

しかし、アンケート調査では、生涯学習活動等を通じて身につけた知識・技能や経験を他の人に伝えるなど講座・教室の指導に活かしたいという人が1割弱みられ（P48 参照）、地域において講座や教室を開催したり、地域での活動に参加してみたい人は約4割みられました（P48 参照）。その内容は、「畑のつくり方、ガーデニングなど農業・園芸に関する講座・教室」、「趣味のための学習講座・教室」など多岐にわたっています（P49 参照）。

このような人材を把握、育成し、活動の場に結び付けることが必要です。

(2) 施策の方針

①地域における講師・指導者人材の発掘

- ・人生経験や学習等によって得た知識・技能を伝えたいという思いをもつ人たち、民間や学生など新たな人材の発掘と育成を行います。
- ・生涯学習指導者（ボランティア）登録制度が活用されるよう、広くPRに努めます。

②指導者を育成するための研修の実施

- ・指導者を養成するため、また、指導者としての資質向上を図るため、講習会や研修会を開催します。

(3) 主要施策・事業等

主要施策・事業名	内容	関係課
生涯学習指導者（ボランティア）登録制度の普及	講座受講者や学習サークル・グループで活動している人、町民などに対して、生涯学習指導者（ボランティア）登録制度をPRする。	社会教育課
指導者養成講座の実施	指導者養成や資質向上を目的とした講座を実施する。	社会教育課

5-3 学習成果の発表機会の充実と活用

(1) 現状と課題

学びの活動により身につけた成果を発表したり、人々の学習活動に役立てたり、地域に貢献する活動に取り組むなど、こうした学習成果を社会に還元することは学習している者にとって励みとなります。そして、さらに学習する意欲や向上心が生まれ、次の学習への動機づけとなります。

現在本町では、文化展などの作品発表の機会や、行政と学習サークル・グループが連携した事業など、学習成果の発表機会や活用機会があります。

また、子どもの見守り活動やお年寄りの居場所づくり、地域の歴史・文化資源のガイドなど、地域のための活動をしている人が少なくありません。

地域の課題に気づき、学習の成果を主体的、積極的に活かしていく意識が育まれるよう、意識啓発を図っていく必要があります。

(2) 施策の方針

①学習成果の発表機会の充実

- ・文化展や親子映画会、親子ふれあいひろばなど、現在実施しているイベントや事業の魅力向上を図ります。
- ・日常的に学習成果を発表できる場として、「(仮) まちかどギャラリー」の整備に向けて検討します。

②地域づくり活動やボランティア・NPO活動への橋渡し

- ・学習の成果を地域づくりに活かすことができるような場や活動等の情報を提供するとともに、そこに結び付けるコーディネーター機能を充実させます。
- ・学習成果を活用した地域づくり活動等について情報を収集・整理し、講座・教室を開講したり、広報みなみちたに掲載するなどして、広く啓発します。

(3) 主要施策・事業等

主要施策・事業名	内容	関係課
文化団体育成事業	町文化協会をはじめとする各文化団体の活動を支援する。	社会教育課
地域づくりにつながる意識啓発事業	学習成果を活用した地域づくり活動等の先進事例をまとめ、情報発信する。	社会教育課

第6章 計画の実現に向けて

6-1 庁内推進体制の整備

生涯学習は幅広い分野や多様な世代に関係することから、関係する施策や事業を整理し、生涯学習としての視点を踏まえた施策・事業を総合的・体系的に推進する必要があります。

そのため、庁内の関係各課により構成される組織及び住民と行政の意見交換の場を設置して、施策・事業の評価及び改善・見直しを行うなど、重点的な施策・事業については計画期間中に施策・事業の進行管理を行い、成果及び課題の検証を行います。

また、本計画を通じて職員の生涯学習に対する意識を高めるとともに、研修などを通じて講座等の企画・運営能力やコーディネート能力の向上に努めます。

6-2 町民参加による生涯学習の推進

町民ニーズや地域の生活課題に対応し、本町ならではの生涯学習を推進するために、町の関連施策・事業を行政主体で推進するのではなく、子どもから高齢者まで多様な町民の積極的な参加を促し、町民と行政の協働のもとで取り組んでいくことが求められます。

そのため、今後も定期的に町民や関係団体等のニーズを把握して施策・事業に反映するとともに、「マイスタディ講座」「マイプロデュース講座」のように、町民自身が主役となり行政と協力して講座の企画・運営等に取り組むための仕組みの充実を図ります。

こうした町民参加による取り組みを通じて、町民が参加したくなるような生涯学習の魅力向上を図るとともに、参加者の拡大及び担い手の発掘・育成を進め、地域に根ざした生涯学習を推進します。

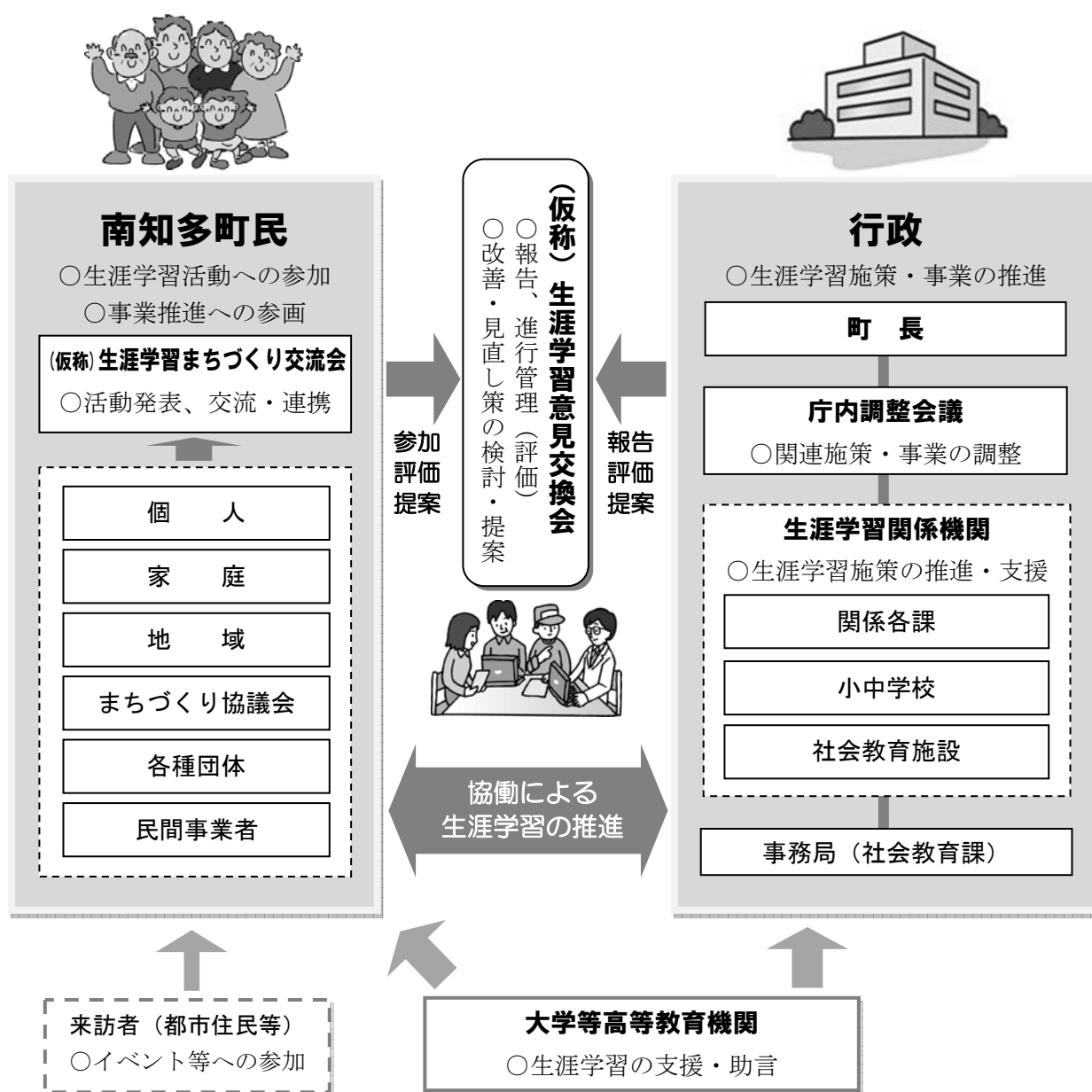
6-3 教育機関・民間等との連携

幼年期から老年期まで、ライフステージ*に応じた多様な生涯学習を効果的に推進するために、各小中学校における総合学習等と連携を図りながら相乗効果の高い施策を推進するとともに、大学等の高等教育機関の協力を得て質の高い教育内容の提供を図ります。

さらに、郷土への誇りと愛着を育むふるさとづくりに結びつけるために、本町の地域特性を踏まえた生涯学習の推進が不可欠です。そのため、町内の各種文化団体

や自治組織、民間事業者等と協力・連携し、例えば自然環境や郷土の歴史・伝統文化、農業、漁業、商工業、観光業等の地場産業を題材とした生涯学習を推進することが求められます。

図 6-3-1 南知多町の生涯学習の推進体制



第7章 重点的な取り組み

今後、行政と住民が一体となり取り組む重点的な実践運動を「重点的な取り組み」として位置づけて展開します。

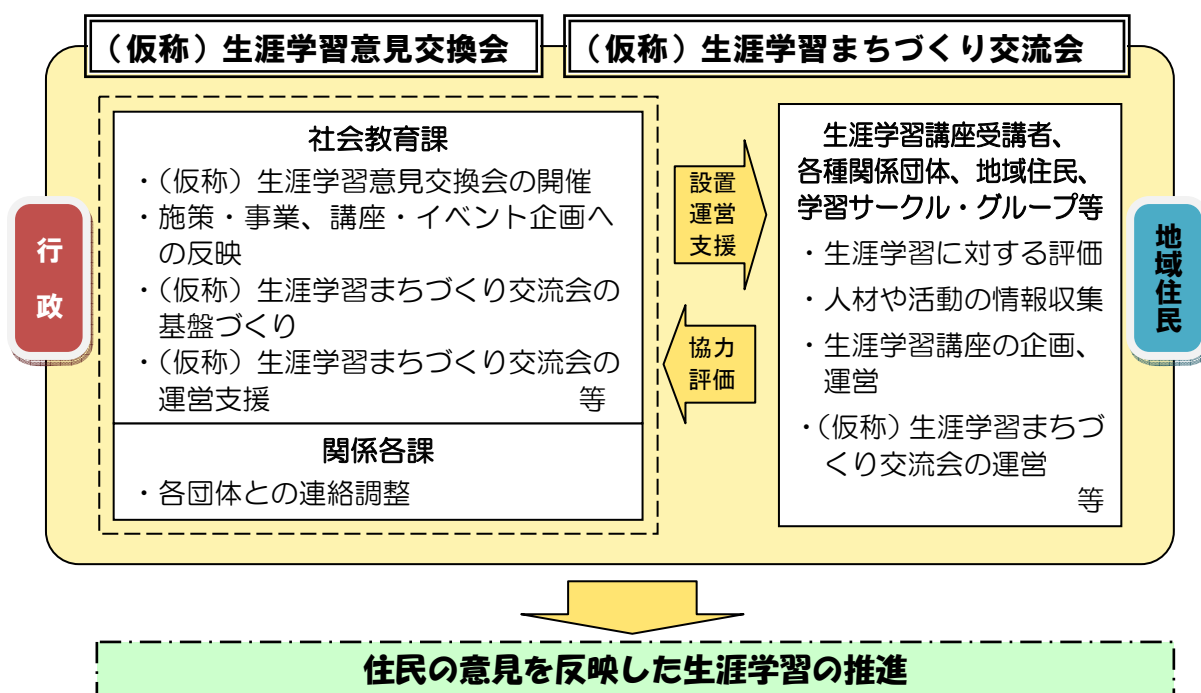
7-1 住民とともに取り組む生涯学習の推進

生涯学習を広く町民に普及していくためには、住民のニーズを的確に把握する仕組みが必要です。

そこで、生涯学習講座受講者や各種関係団体、学習サークル・グループなどから、生涯学習に関連する施策や講座・イベントに対する評価を行っていただく意見交換会を開催します。

また、アンケート調査では、町における生涯学習講座や教室は「町民と町が一緒に企画し、開催する」のが良いという考え方が多く、そのための組織づくりや環境づくりを行っていく必要があります。

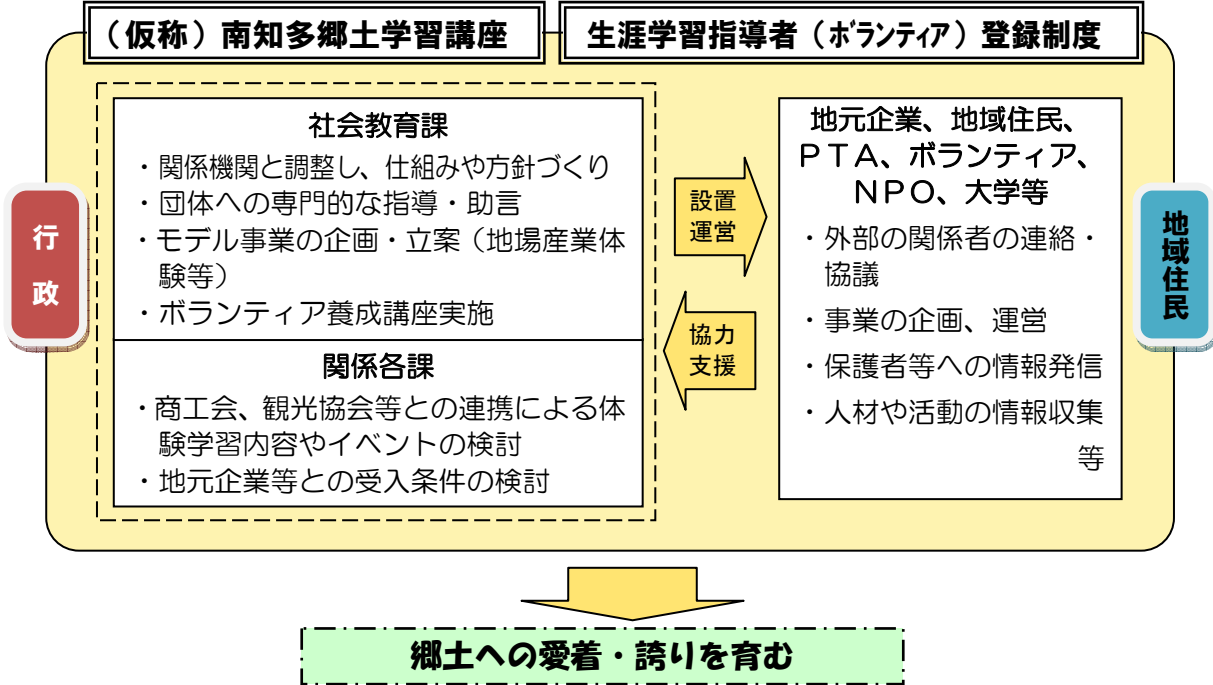
その一歩として、住民とともに「マイスタディ講座」「マイプロデュース講座」の普及啓発に努めます。



7-2 地域の誇り・愛着を育むプログラム

本町の次代を担う子どもを育むため、地域住民との協働により、本町ならではの多様な地域資源を活かし、伝統文化、自然体験、農・漁業体験、昔遊びなどあらゆる分野の学習活動・体験活動を行うことができる講座を実施します。そして、受講者に、本町の多様な価値や暮らしの魅力について実体験を通じて理解を深めていただきます。

また、町が実施する生涯学習講座修了者のなかから優れた方を、生涯学習指導者（ボランティア）として登録し、様々な知識・技能を備えた人材として活用します。

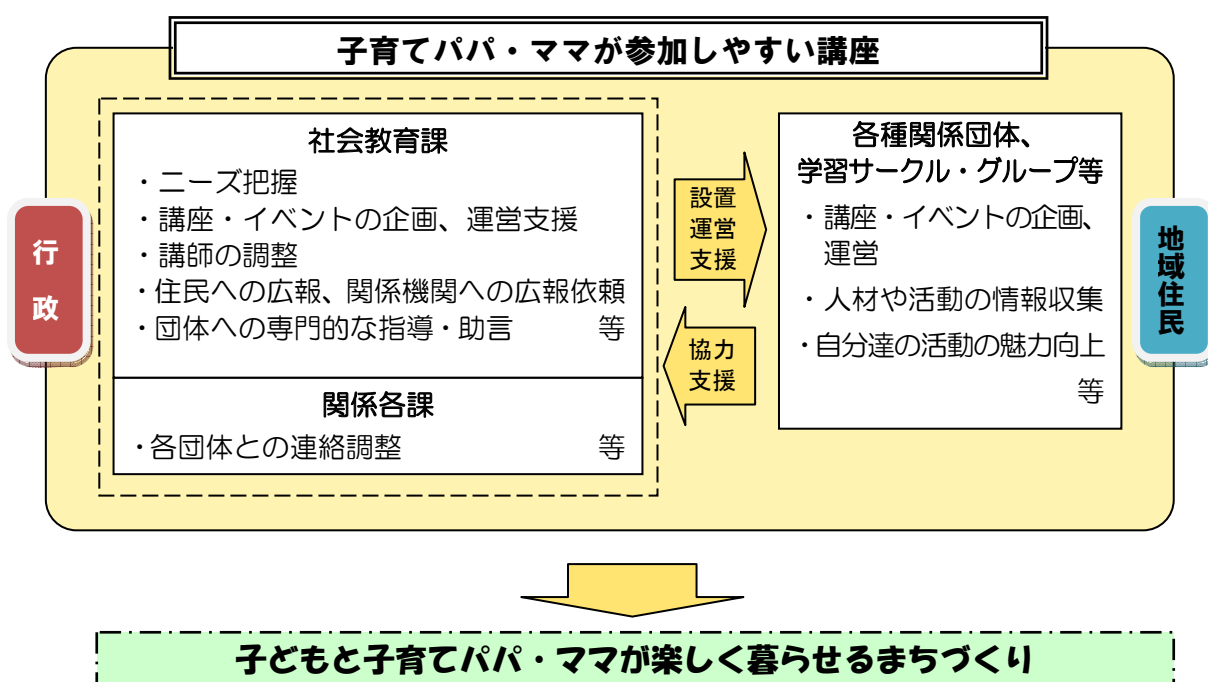


7-3 子育てパパ・ママが参加しやすい学びの場づくり

現在の講座受講者は高齢者が多く、若い世代の参加が少ないのが実情です。親子対象の講座・イベントもありますが、子どもを対象とした講座やイベントに親が一緒に参加する形が多くなっています。一方、アンケート調査や団体ヒアリングから、子育て中のパパ・ママなど若い世代の生涯学習への意欲が高まっていることがわかります。

本町においては、少子化が進み、人口減少に歯止めをかけるためにも、子育てしやすい環境、子育て中のパパ・ママなど若い世代が楽しく過ごせるまちづくりが求められています。

そこで、子育て中のパパ・ママをはじめとする若い世代の興味・関心が高そうな講座や託児つきの講座のほか、「親子でヨガ」のように子どもと一緒に体を動かすことができる講座や高齢者による昔遊び講座など、子育てパパ・ママが親子で参加しやすい学びの場づくりに努めます。



第8章 生涯学習の推進に関する成果指標

本計画の推進に関する成果指標を以下に示します。（第6次南知多町総合計画 関連施策からの抜粋）

成果指標名	現状値	目標値	
	2008（平成20）年度	2015（平成27）年度	2020（平成32）年度
生涯学習施策に満足している人の割合（％）（住民意識調査）	2.9	10.0	20.0
生涯学習関連の講座・教室の参加者数（人）	593	660	720
スポーツ施設の利用者数（人）	143,991	158,400	175,000
学校体育施設開放の利用者数（人）	50,887	56,000	62,000
文化・芸術活動に満足している住民の割合（％）	3.0	6.0	10.0
町が後援する町文化協会主催の芸術文化活動（文化展・芸能祭・お茶会）に鑑賞・参加している住民の数（人）	2,700	3,000	3,300

参考資料

1 策定経過

年月	内容
平成23年 8月3日(水)～10日(水)	庁内各課ヒアリング
9月22日(木)～ 10月中旬	アンケート調査実施
10月初旬～中旬	団体アンケート調査実施
11月25日(金)～ 12月7日(水)	団体ヒアリング実施
12月21日(水)	第1回策定委員会 ・生涯学習推進計画策定にかかる経過報告 ・町生涯学習の課題及び施策体系について
平成24年 1月25日(水) ～2月7日(火)	パブリックコメント実施
2月14日(火)	第2回策定委員会 ・生涯学習推進計画(案)について
2月28日(火)	教育委員会議決

2 策定委員会設置要綱

南知多町生涯学習推進計画策定委員会設置要綱

(設 置)

第1条 南知多町において、町民の生涯にわたる学習を総合的に推進することを目的とし、これに関する施策及び事業について計画的に実施するための推進計画（以下「推進計画」という。）を策定するために、生涯学習推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(事 務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査検討を行う。

- ①生涯学習推進計画の策定に関すること。
- ②その他、生涯学習推進に関する必要な事項に関すること。

(組 織)

第3条 委員会は、委員15名以内で組織する。

- 2 委員会委員（以下「委員」という。）は、生涯学習に関係する機関、団体及び地域の代表者のうちから教育委員会が委嘱する。

(任 期)

第4条 委員の任期は1年とする。ただし、やむを得ない理由により、任期までに第2条の調査検討が達成されない場合は、必要な範囲において、委員の任期を延長することができる。

(運 営)

第5条 委員会には、委員長1名及び副委員長1名を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。
- 3 委員長は、会務を総理し委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故あるときはその職務を代理する。
- 5 委員長は、委員会を召集し、議長となる。

(庶 務)

第6条 委員会の事務局は、教育委員会社会教育課に置き、庶務を担当する。

(雑 則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長がこれを定める。

附 則

この要綱は、平成23年12月21日より施行する。

3 策定委員会委員名簿

	役 職 名	氏 名
委員長	町議会文教厚生委員長	鳥居 恵子
副委員長	教育委員長	池戸 義久
委 員	教育長	日比 健二
委 員	社会教育委員長	小久保 洋
委 員	区長会長	家田 邦義
委 員	青少年を守る会等連絡協議会長	榎戸 陵友
委 員	体育協会会長	間瀬 雅信
委 員	体育指導委員長	高橋 公雄
委 員	文化財保護委員長	松本 亀男
委 員	文化協会会長	久野富貴子
委 員	小中学校長会長	大岩 康幸
委 員	女性団体連絡協議会長	中村 修見
委 員	老人クラブ連合会長	相川 富雄
委 員	子育てネットワーカー代表	田中ゆう子

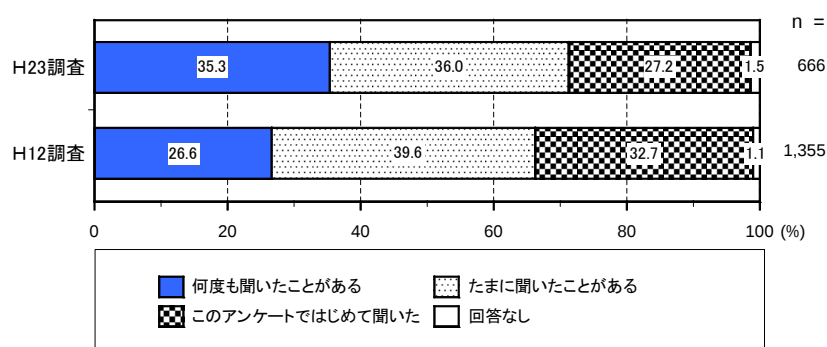
事務局	社会教育課
〃	社会教育指導員
〃	学校教育課

4 アンケート結果概要(抜粋)

※一部、計画書本編と重複するものもあります。

①「生涯学習」の認知度

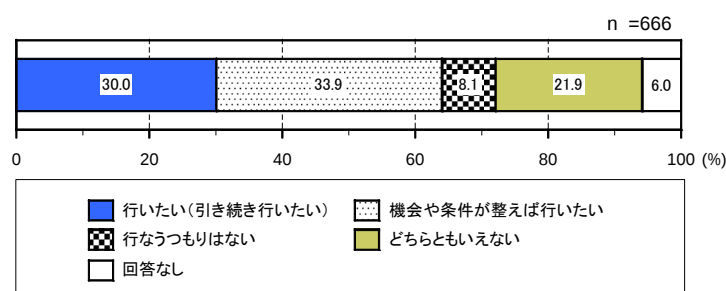
問 あなたは、これまでに「生涯学習」という言葉をどの程度聞いたことがありましたか。【〇は1つ】



- ◆「生涯学習」という言葉について、「何度も聞いたことがある」が 35.3%、「たまに聞いたことがある」が 36.0%で、7割以上の方が聞いたことがあると回答しています。
- ◆平成 12 年度に実施した調査と比較すると、「何度も聞いたことがある」が多くなっています。

②今後の生涯学習活動の意向

問 あなたは、今後（または引き続き）、何らかの生涯学習活動を行いたいと思いますか。【〇は1つ】



- ◆今後の生涯学習活動の意向は、「行いたい（引き続き行いたい）」が 30.0%、「機会や条件が整えば行いたい」が 33.9%と、6割以上の方が行いたいと思っています。

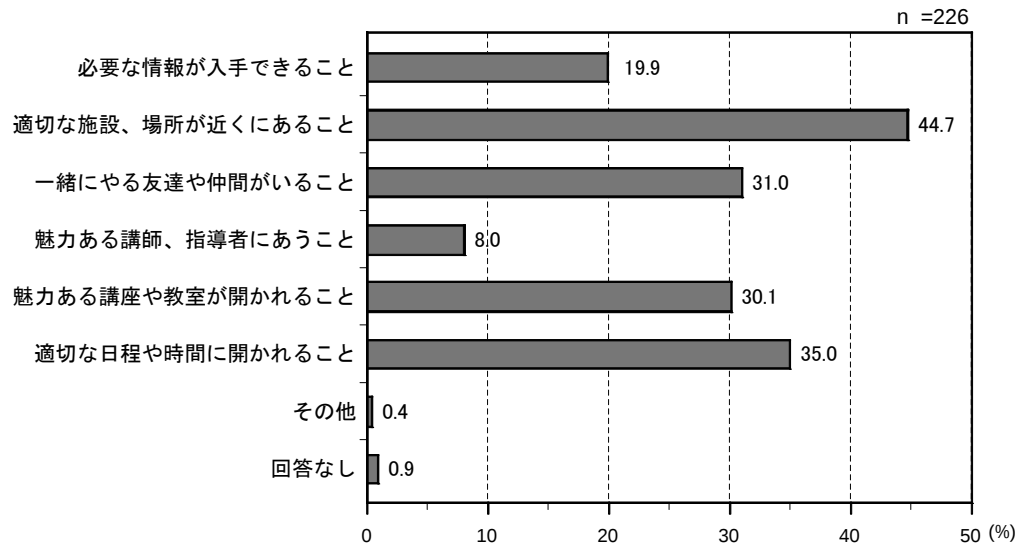
③現在の生涯学習活動の状況と今後、学習・活動したい内容

【「機会や条件が整えば行いたい」方にうかがいます】

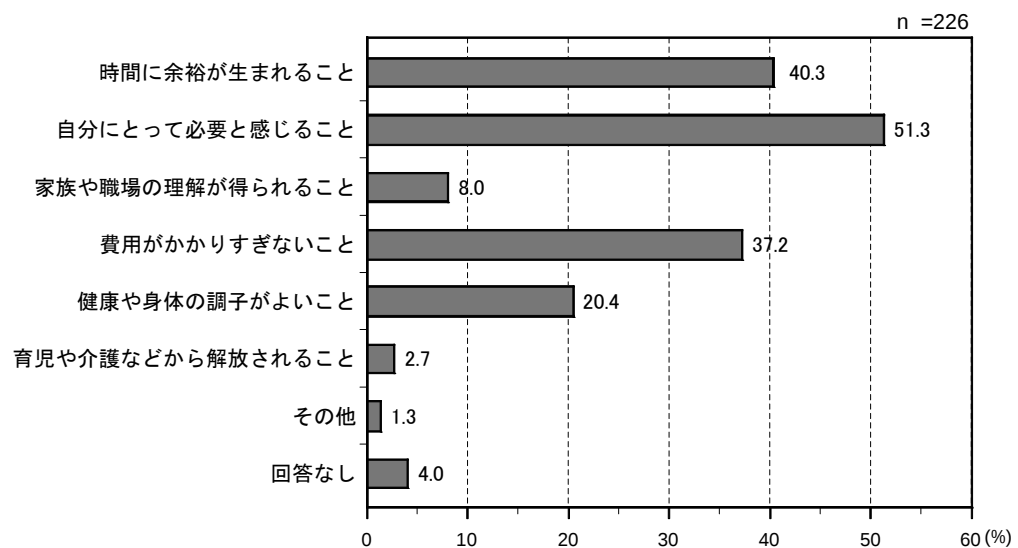
問 あなたが、学習活動を始めするための機会や条件として重視するものは何ですか。

【○は、機会、条件それぞれあてはまるもの2つまで】

[機会]



[条件]



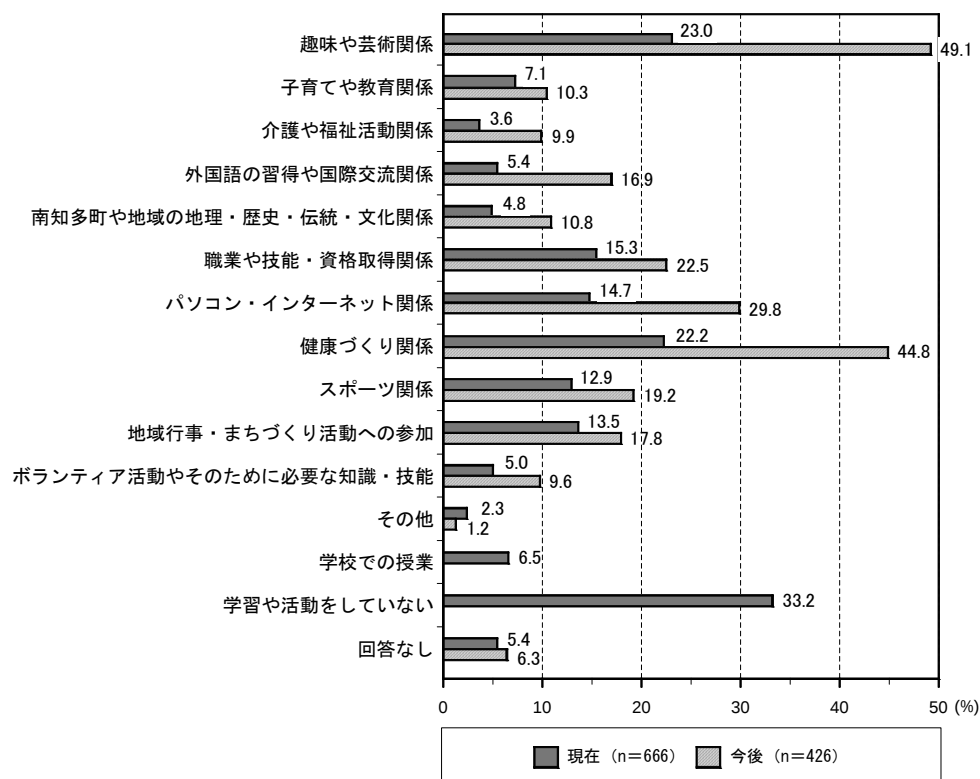
- ◆学習活動を行うために必要な機会については、「適切な施設、場所が近くにあること」が 44.7%と多くなっています。
- ◆学習活動を行うために必要な条件については、「自分にとって必要と感ずること」が 51.3%と最も多く、次いで「時間に余裕が生まれること」が 40.3%、「費用がかかりすぎないこと」が 37.2%と多くなっています。

④現在の生涯学習活動の状況と今後、学習・活動したい内容

問 あなたは、日頃、どのような生涯学習活動を行っていますか。

問 あなたは、今後（または引き続き）どのような生涯学習活動をしたいと思いますか。

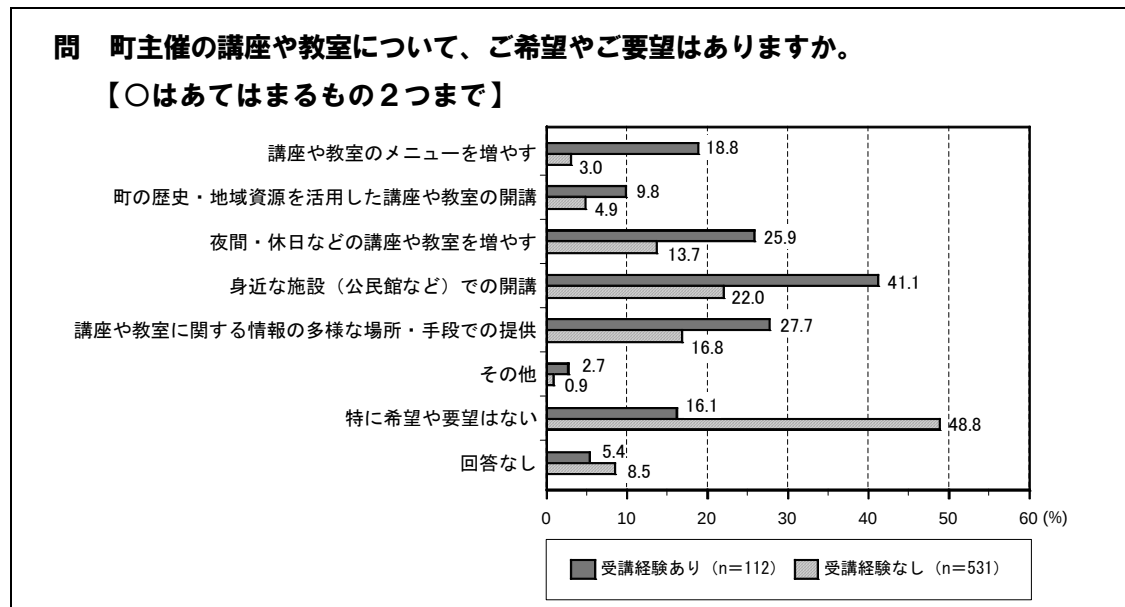
【いずれも、○はあてはまるものすべて】



◆日頃、生涯学習活動を行っている人は約6割です。内容は「趣味や芸術関係」や「健康づくり関係」が多くなっています。

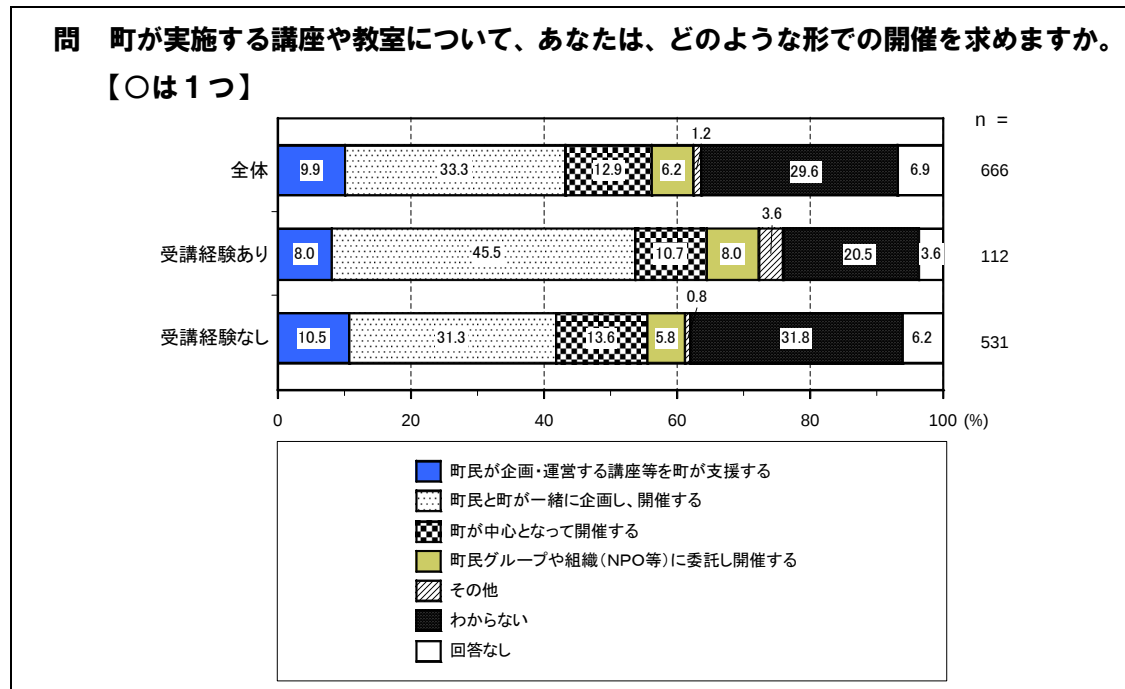
◆今後取り組みたい生涯学習活動の内容についても、現在行っている生涯学習活動の内容と同様に、「趣味や芸術関係」や「健康づくり関係」が多くなっています。

⑤南知多町が主催している講座や教室への希望や要望



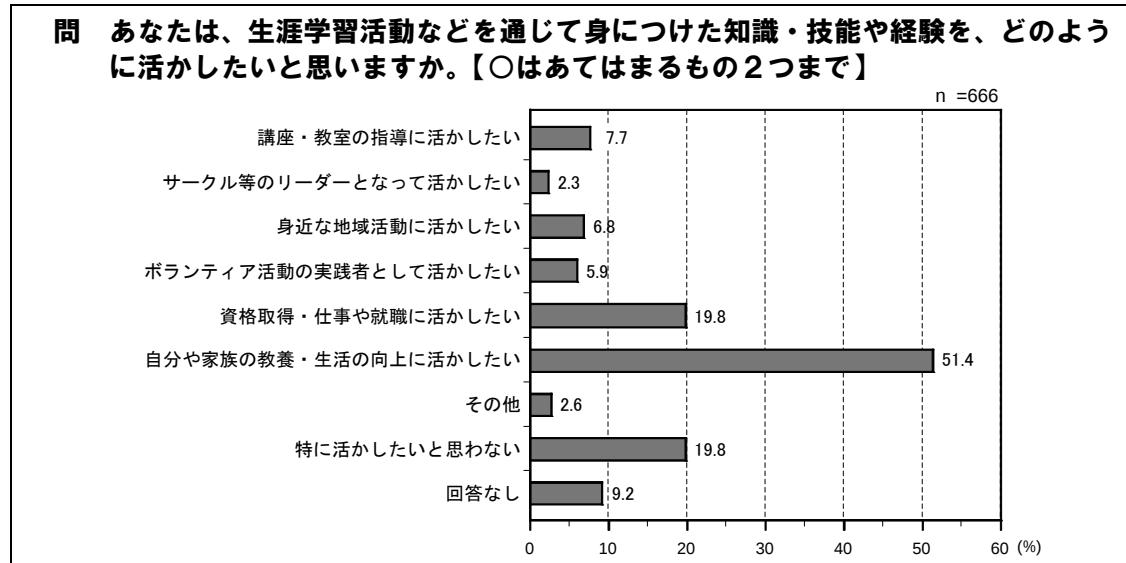
◆町主催の講座や教室への希望や要望は、「身近な施設（公民館など）での開講」、「講座や教室に関する情報の多様な場所・手段での提供」、「夜間・休日などの講座や教室を増やす」が多くなっています。

⑥町が実施する講座や教室の開催手法



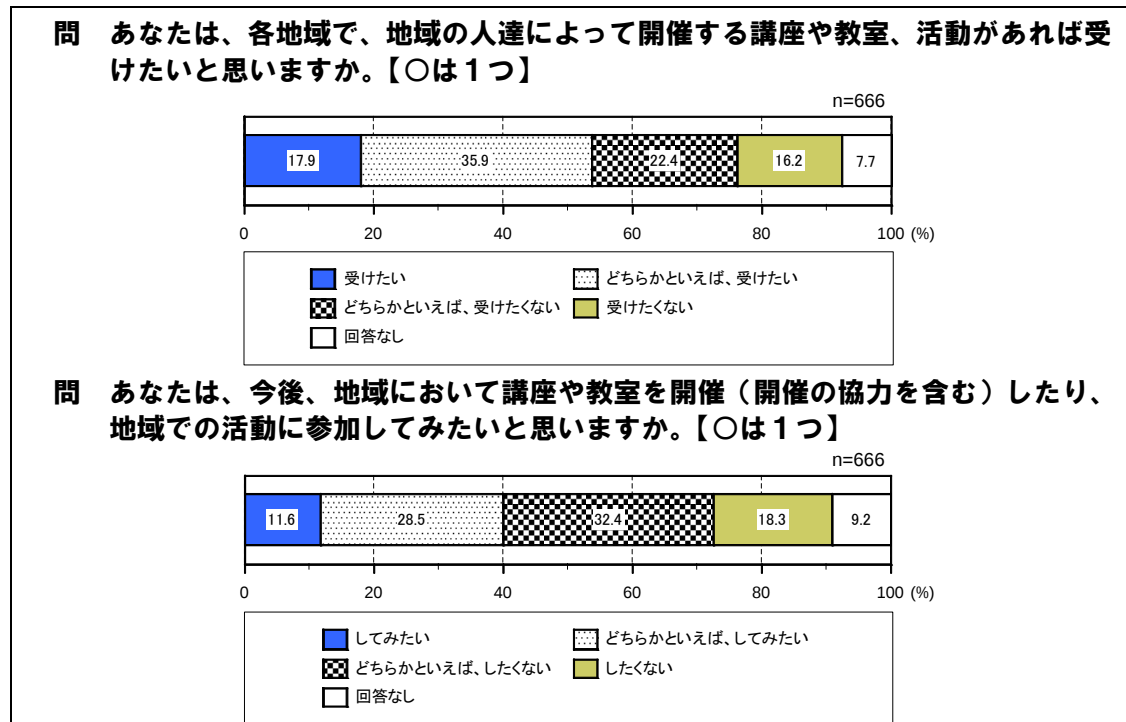
◆町が実施する講座や教室の開催手法について、「町民と町と一緒に企画し、開催する」が 33.3%と最も多く、次いで「町が中心となって開催する」が 12.9%、「町民が企画・運営する講座等を町が支援する」が 9.9%となっています。

⑦学習や活動の成果の活用



- ◆学習や活動の成果については、「自分や家族の教養・生活の向上に活かしたい」が約5割と多くなっています。
- ◆講座・教室の指導、身近な地域活動、ボランティア活動に活かしたいという人もいます。

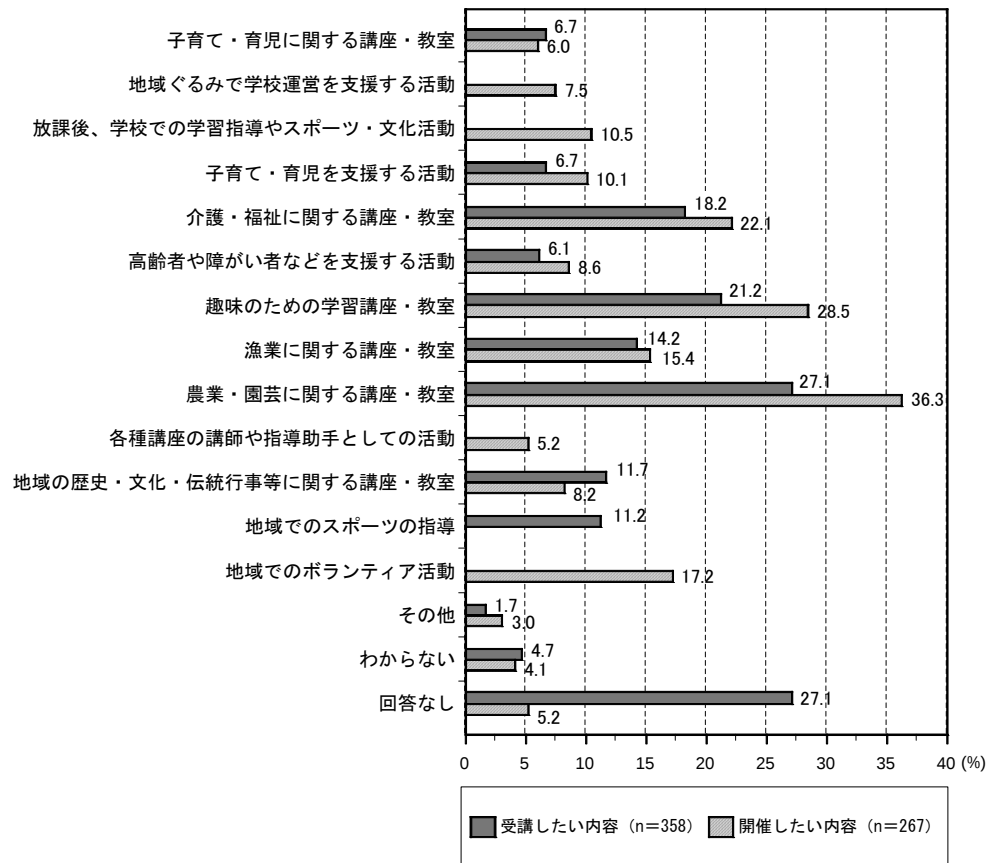
⑧地域における生涯学習や活動の受講意向、開催意向



- ◆地域における講座や教室、活動について、「受けたい」と「どちらかといえば、受けたい」を合わせると5割以上の需要がみられます。
- ◆地域における講座や教室の開催意向や活動への参加意向については、「してみたい」と「どちらかといえば、してみたい」を合わせると約4割の人が開催意向、参加意向を持っています。

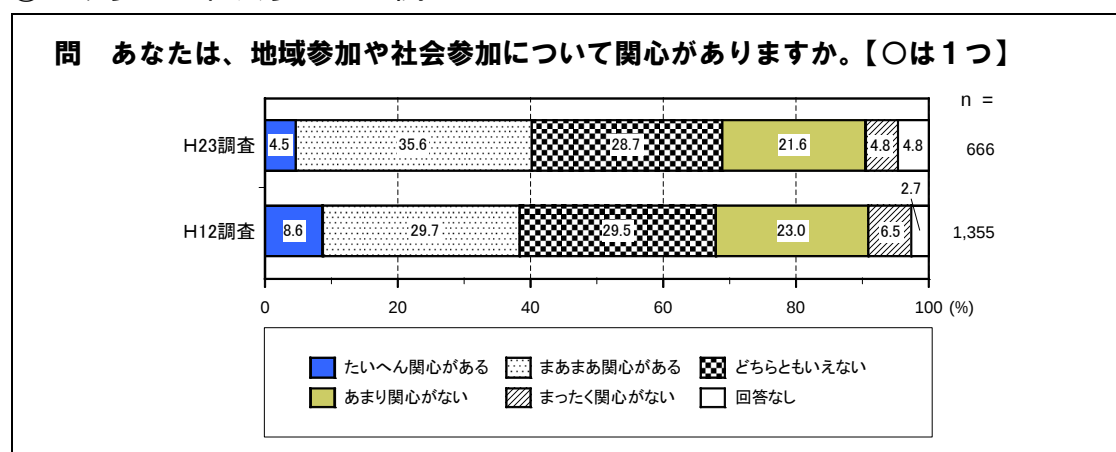
⑨地域における生涯学習や活動の受講したい内容、開催したい内容

問 どのような講座や教室、活動を受けたいですか。【〇はあてはまるものすべて】
 問 どのような講座や教室を開催（開催の協力を含む）したり、地域での活動に参加してみたいと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】



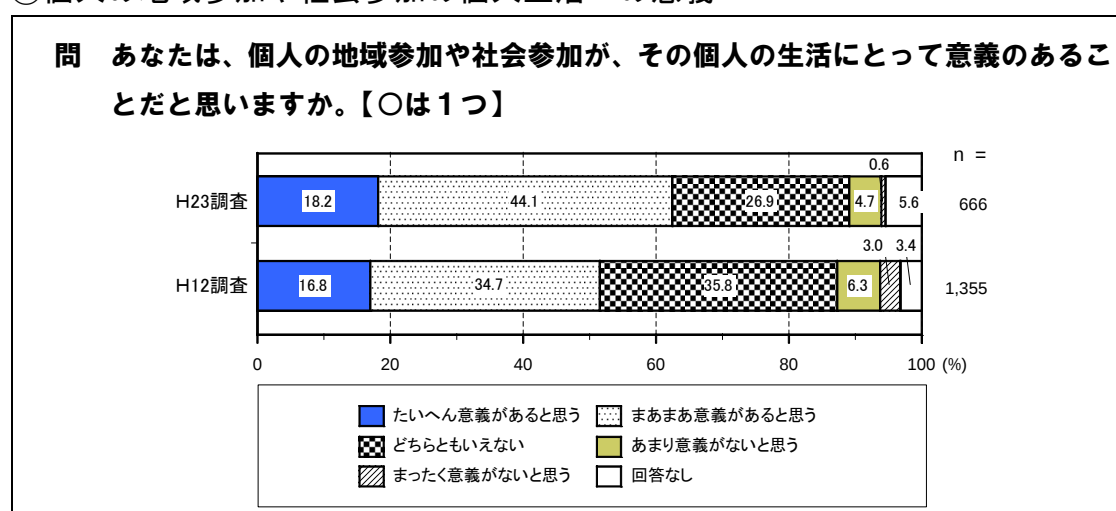
- ◆地域において受講したい講座や教室、サービスを受けたい活動の内容は、「農業・園芸に関する講座・教室」や「趣味のための学習講座・教室」、「介護・福祉に関する講座・教室」が多くなっています。
- ◆地域において開催したい講座や教室、参加したい活動の内容についても、地域において受講したい講座や教室、サービスを受けたい活動の内容と同様に「農業・園芸に関する講座・教室」、「趣味のための学習講座・教室」、「介護・福祉に関する講座・教室」が多くなっています。

⑩地域参加や社会参加への関心



◆地域参加や社会参加について、「たいへん関心がある」と「まあまあ関心がある」を合わせると約4割の人が関心があるようです。

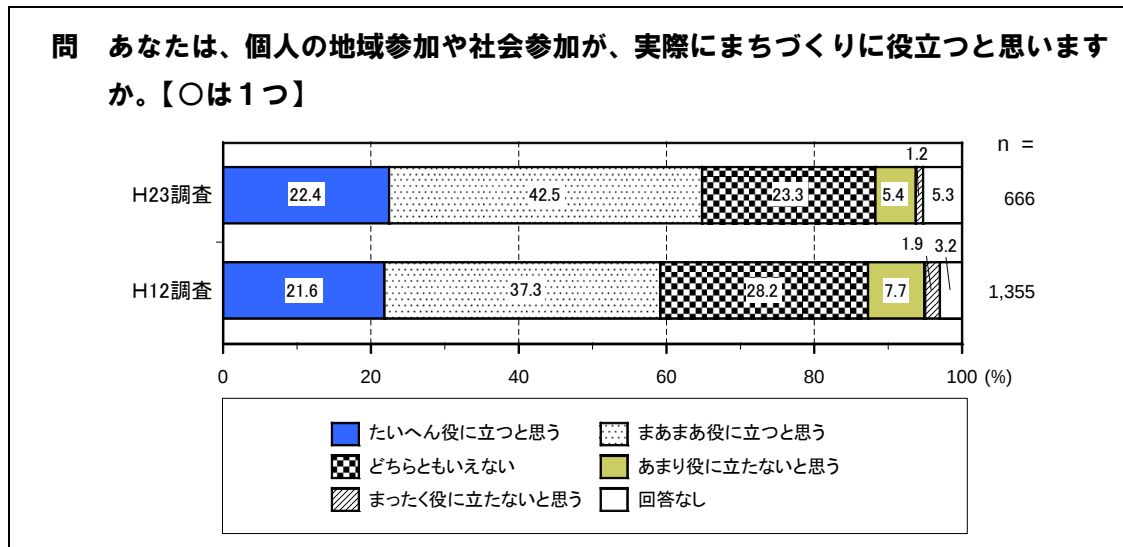
⑪個人の地域参加や社会参加の個人生活への意義



◆個人の地域参加や社会参加の個人生活への意義については、「たいへん意義があると思う」と「まあまあ意義があると思う」を合わせると6割以上の人が意義があると思っています。

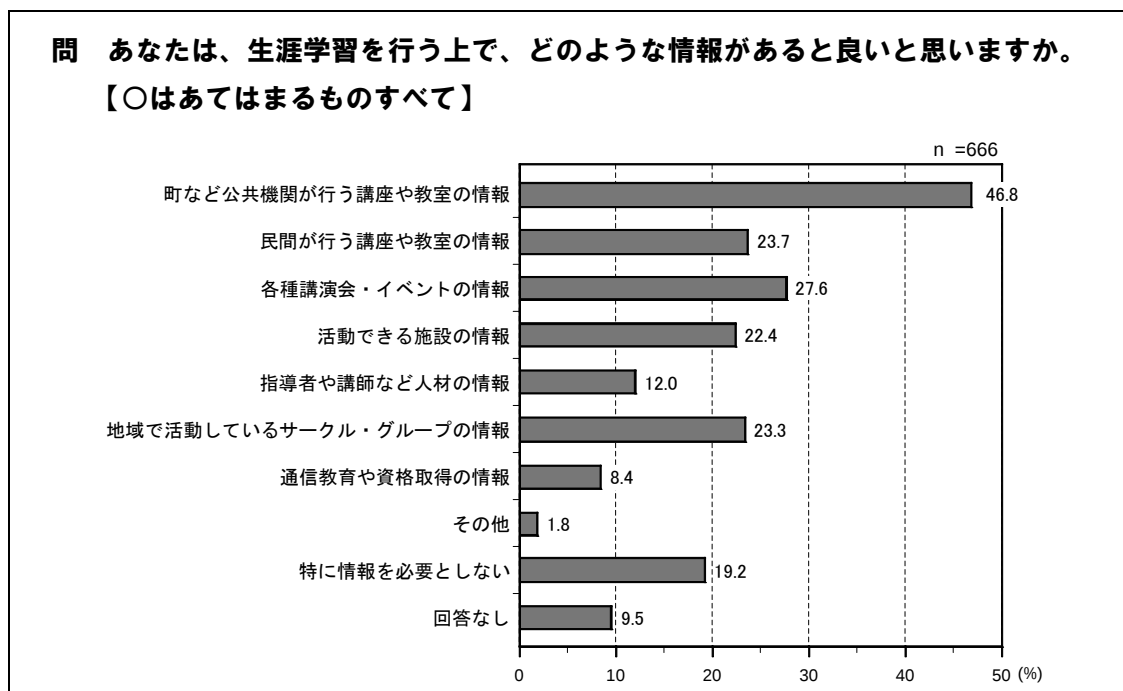
◆平成12年度に実施した調査と比較すると、その割合は10.8ポイント上昇しています。

⑫個人の地域参加や社会参加のまちづくりへの役立ち感



◆個人の地域参加や社会参加の実際のまちづくりへの役立ちについては、「たいへん役に立つと思う」と「まあまあ役に立つと思う」と合わせると6割以上の人が役に立つと思っています。

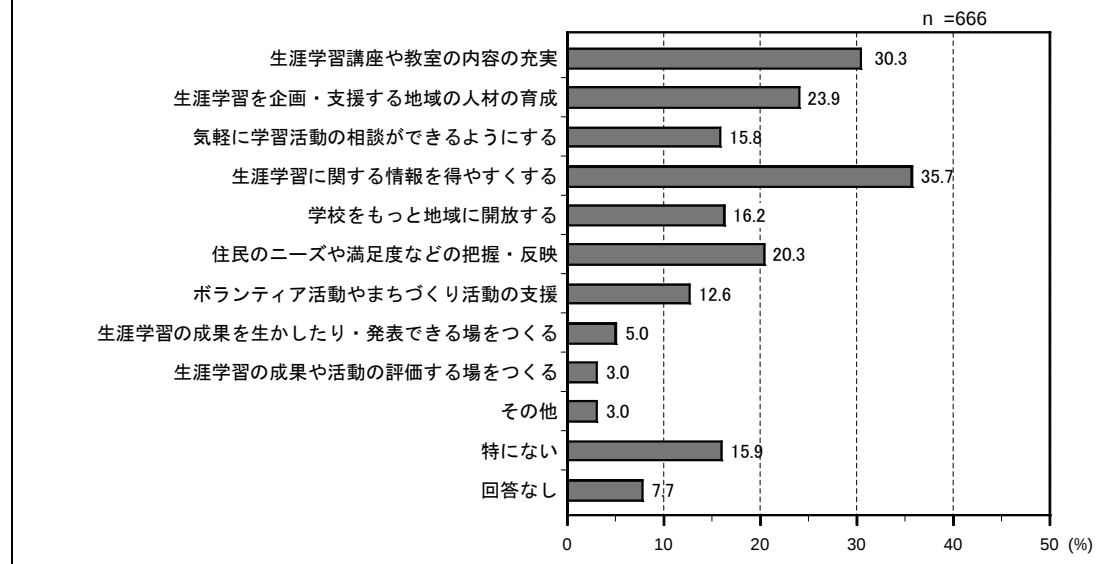
⑬必要な生涯学習の情報



◆生涯学習を行う上で必要な情報の内容は、「町など公共機関が行う講座や教室の情報」が最も多く、次いで「各種講演会・イベントの情報」、「民間が行う講座や教室の情報」、「地域で活動しているサークル・グループの情報」、「活動できる施設の情報」が多くなっています。

⑭今後の町の取り組みについて

問 今後、南知多町の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、南知多町はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【〇はあてはまるもの3つまで】



◆南知多町の「生涯学習」をもっと盛んにするために力を入れるべきこととして、「生涯学習に関する情報を得やすくする」が最も多く、次いで「生涯学習講座や教室の内容の充実」、「生涯学習を企画・支援する地域の人材の育成」、「住民のニーズや満足度などの把握・反映」が多くなっています。

5 用語説明

A

ALT

Assistant Language Teacher(アシスタント ランゲージ ティーチャー)の略で日本の学校における外国語授業の補助を行う助手のこと。

い

一般世帯数

総世帯数から、「施設等の世帯数」(学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯)を除いた世帯数のこと。

け

けんこう南知多プラン

「住民一人ひとりが健康でいきいきと幸せに暮らせるまち」をめざして、住民代表のみなさんと関係機関、役場の職員が一緒に話し合ってできあがった健康づくりの計画のこと。

こ

子育てネットワーカー

子育てについて父親や母親からの相談に気軽に応じたり、地域の子育てグループや子育てサークルの活動を中心になって支援したりする人のこと。

ら

ライフステージ

人の一生を幼年期、児童期、青年期、壮年期、老年期などに区切った、それぞれの段階。また、家族については、新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦期など生活の節目に着目した生活様式のとらえ方。

南知多町生涯学習推進計画

平成24年2月

■発行・編集／南知多町教育委員会

〒470-3412

愛知県知多郡南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘5

電 話:0569-65-2880 FAX:0569-65-2883